

事項九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題ニ関スル件

三四六 十月十七日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛

膠州湾陥落ノ上ハ該地税関長及税関重要役員

ニ日本人ヲ多数任用スル様總稅務司ヘ申入レ

方訓令ノ件

政機密送第三三四号

膠州湾陥落後ニ於ケル同地支那税関事務ハ日本人タル税関員ヲシテ取扱ハシムルコト日支両国双方ニ取り好都合ナルヘキハ言フ俟タサル所ニシテ總稅務司ニ於テモ此点ニ付既ニ相当考慮中ノコト、被察候ヘ共此際特ニ先方ノ注意ヲ喚起シ置クコト将来ノ為得策ナルヘシト思料候ニ付膠州湾陥落ノ上ハ該地税関長ヲ始メ同税関ノ重要ナル役員ニ成ルヘク多数ノ日本人ヲ任用シ且ツ独逸人ハ全部之ヲ解僱スルコト、相成ヘキ様適當ノ機會ニ於テ時機ヲ誤ラス可然總稅務司ニ御申入置相成度此段申進候也

追テ右青島ニ転補セラルヘキ邦人役員ノ人選ニ付テハ先方ノ都合モ有之コト、思料候処現ニ牛莊ニ在勤中ノ古閑

シ置カルヘシ

三四八 十一月十一日 在中国日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関役員ニ日本人任用方ニ関シ曹外交次

長同意ノ件

第八一二号

貴電第五五四号ニ関シ十一月九日曹汝霖来訪ノ節不取敢大略話シ置キ本日改メテ往訪ノ上(総長病氣引籠中ニ付)重テ申入レタル処曹汝霖ハ今朝総統府ニ於テ財政総長稅務処長ト一応評議ヲ遂ケタル末青島税関ヨリ独逸人ヲ引揚ケ新ニ日英人ヲ以テ組織スルコトニ内決セリト語リタルニ付本使ヨリ我方ニ於テハ同税関ハ当然日本人ニテ組織スヘキモノト期待シ居ルヲ以テ予メ我ニ相談ナクシテ何等新組織ニ著手セサル様致タキ旨述ヘタルニ曹汝霖遂ニ之ニ同意シタリ

三四九 十一月二十二日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

曹外交次長ヨリ青島税関ハ日英人ヲ以テ独逸

人ニ代ヘ事務ヲ開始シタキ旨希望申出ノ件

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三四八 三四九

次郎(二等幫弁)及今般一年間ノ休暇ヲ了リ数日前上海ニ向ヒ本邦ヲ出発シタル津田俊太郎(二等幫弁)ノ如キハ青島税関長ノ地位ニハ未ダシトスルモ同税関相当ノ要職ニ用事適任者ナリト被思考候ニ付御参考マテニ申添候也

三四七 十一月九日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

青島陥落後同地税関ノ独逸人役員ヲ全部撤退

セシメ後任ニ日本人ヲ入ルベキ旨中国当局ヘ

申入方訓令ノ件

第五五四号

青島陥落後ノ我方施設殊ニ同地税関問題等ニ付テハ追テ公然支那政府ヘ申入ルルコトアルヘキモ不取敢貴官ハ支那当局ニ対シ同税関ニ於ケル独逸人役員ハ此際当然全部撤退セシメ其跡ヘハ日本人ヲ入ルルコトト致スヘキニ付其旨申入レラレ同時ニ独逸人役員撤退後其後任等ニ付テハ一時的タリトモ此際何等支那側ヨリ手ヲ触ルルコトナキ様為念注意

第八二六号

十一月廿日曹汝霖本官ヲ訪問シ青島税関ノ件ニ関シ予テ日置公使ヨリ申出ノ次第モ有之タル処支那ニ於テハ最近ノ機會ニ於テ現ニ在青島独逸人税関吏員ヲ撤退シ日英人ヲ以テ之レニ代ヘ税関事務ヲ開始シ度キ希望ナリト本官ノ意見ヲ承知シタキ旨申出タルニ付本官ハ過般日置公使ヨリ支那政府ニ申出タル帝國政府電訓ノ詳細ハ今記憶ニ存セサルモ帝國政府ハ青島税関ハ全然日本人ヲ以テ之レヲ組織スル考ナルヲ承知ス旁本件ハ日本國政府ヨリ何等申出アル迄見合セ置カレテハ如何尚篤ト政府電訓ノ趣旨ヲ研究シ置クヘシト答ヘ置キタリ越エテ十一月二十一日日本官ヨリ曹汝霖ヲ訪問シ青島税関ノ件ハ昨日答ヘ置キタル通ニテ相違ナシトテ前記ノ趣旨ヲ繰返シ本件ハ今暫ク提議ヲ見合セ可然旨申入レタレトモ曹ハ兎ニ角支那政府ノ希望丈ハ日本國政府ニ伝達セラレタガ將又税関長ハ現任蘇州稅務司黒沢礼吉ヲ以テ之ニ任シ副稅務司トシテ英人ヲ置キ他ノ税関員ハ日英人ヨリ任命スル見込ナルモ此点ニ就テハ日本國政府ノ意向ヲ確メ承知シ置キタキ旨陳述セリ就テハ右曹ノ申出ニ対シ我政府御意向折返シ御回電ヲ請フ

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三五〇 三五二 三五三

五五四

三五〇 十一月二十四日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関員ハ全部日本人トスルコト絶対必要
ナルニ付中国当局ニ注意方訓令ノ件

第五七四号

貴電第八二六号ニ関シ帝國政府ニ於テハ青島税関員ハ全部日本人ヲ以テスルコト絶対ニ必要ト認ム右ハ単ニ從來独逸カ為シ居リタル所ヲ襲フニ過ギズシテ其ハ貴電第八一九号ノ通り在支英國公使ニ於テモ異議ナキ所ナリ就テハ同税関員ハ追テ我方ニ於テ撰定ノ上支那政府ヘ通告スルコト、為スヘキニ付此際支那側ニ於テ何等決定ケ間敷措置ニ出デサル様為念支那当局ニ注意シ置カレ度シ

三五二 十一月二十六日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関員ハ全部日本人トスベキ旨曹外交次
長ニ申入済ノ件

第八三三三号

貴電第五七四号ヲ以テ御電訓ノ趣十一月二十五日曹汝霖ニ会见ノ上委細相伝ヘ置ケリ曹ハ本件主管ハ税務処ナルヲ以

テ日本國政府ヨリ申出ノ趣ハ同処ヘ伝達スルコトトスヘキ旨述ヘタリ

三五二 十一月二十七日 松井外務次官ヨリ
在本邦中国公使宛

青島税関下級役員ニ英國人任用ノ中国側希望
ニ関シ回答ノ件

機密(半公信)

拝啓陳者先刻御來談ノ青島税関下級役員ニ英國人ヲ入ルルコト、致度旨御希望ノ次第ニ付テハ早速一応御來話ノ趣外務大臣ニ相通候処帝國政府ニ於テハ戰爭以前ニ同税関ニ独逸人ヲ採用シ居リタルト同様今回モ全部日本人ノミヲ以テ同税関員ニ充ツルコトヲ絶対ニ必要ト認メ居リ実ハ人選モ略相定マリ右ハ不日貴國政府ニ公然御通知致ス運ト相成居次第ニ付到底貴意ニ相応スルノ余地無之旨御挨拶可致置様同大臣ヨリ下命有之候間右様御承知相成度此段得貴意候

敬具

三五三 十一月二十九日 在本邦中国公使ヨリ
加藤外務大臣宛

中国政府ハ大連税関長立花政樹ヲ青島税関長

ニ任命シタル旨通知ノ件

(十一月二十九日接受)

外甲字第七一號

敬啓者頃奉本國外交部二十八日電開青島税司已於本月二十七日派定大連税務司立花政樹前往業已發表不便更改此舉已係重視日本政府之意變通辦理至由日政府選出人員通告中政府委任一節即照中德膠關委任税司原約亦無此辦法等因本使合將本國政府已派立花税司前往青島之事即行佈達至希

察照敬頌

嘉祺

外務大臣男爵加藤高明閣下

中華民國駐日本特命全權公使陸宗輿(印)

中華民國三年十一月二十九日

三五四 十一月三十日 立花大連税関長ヨリ
小池政務局長宛(電報)

北京總稅務司ノ電命ニ付外務省ニ問合ノ件

親展

北京總稅務司ヨリ至急青島ニ赴キ膠州灣稅関事務ヲ管理スベキ電命ニ接セリ之ハ貴省ノ御同意ヲ經タル義ナルヤ御内

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三五四 三五五 三五六

報ヲ請フ

三五五 十一月三十日 小池政務局長ヨリ
立花大連税関長宛(電報)

青島税関長ノ任命受諾ハ暫ク猶予アリタキ件

支那政府ハ貴官ヲ青島税関長ニ任命シタル趣ノ処同税関役員問題ニ付テハ支那政府トノ間ニ尚議纏マラザル点モアルニ付貴下ニ於テ右ノ任命ヲ受ケラル、コトハ暫ク猶予アラソコトヲ望ム

三五六 十一月三十日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

中国政府ノ立花青島税関長任命ハ不承認ノ旨
同政府ニ申入方訓令ノ件

第五八二号

青島税関員ノ件ニ関シ十一月廿七日在本邦支那公使松井次官ヲ來訪切メテ下級役員ニ英國人ヲ入ル、コトニテモ叶フ間敷ヤト申出デタルニ付帝國政府ニ於テハ同税関員ハ全部日本人ノミヲ以テ組織スルコトヲ絶対ニ必要ト認メ居リ実ハ人選モ略ホ定マリ右ハ不日支那政府ニ公然通知スル運ト相成居ル次第ナル旨回答セシメ置キタルニ十一月廿九日同

五五五

公使ヨリ公文ヲ以テ支那政府ニ於テハ十一月廿七日大連税関長立花政樹ヲ青島税関長ニ任命シ已ニ之ヲ發表シタルニ付最早變更スルヲ得ス云々トノ旨申越タル処右ハ往電第五七四号及貴電第八三三号ノ次第モアリ甚タ不都合至極ニシテ帝國政府ノ承認スル能ハサル所ナル旨嚴重申入レラレ万一支那政府ニ於テ之ニ応セサルニ於テハ我方ニテハ青島税関ヲ支那政府ニ引渡スヲ得サル旨言明セラルルモ差支ナシ尚一八九九年青島税関設立ニ関スル独支取極第一条ニ掲レバ新税関長任命ニ当リテハ総稅務司ハ在北京独逸公使館トノ間ニ協定ヲ遂クルヲ要スルコト、成リ居レリ御參考迄申添ユ

(欄外註記)

「十二月一日政務局長ノ命ヲ受ケテ紫軍務局長ヲ訪問シ本件ノ成行ヲ説明シ支那政府ニ於テ任命シタル税関吏員ハ未タ承認セサル次第ニ付青島守備軍ニ對シ追テ何分ノ訓令アル迄税関引渡等ニ付何等措置ヲ採ラサル様訓令アリ度旨申入レタル処同軍務局長ハ之ヲ承諾シタリ依テ本電信並ニ立花宛小池局長ノ電報ヲ手交シタリ」(矢田印)

三五七 十二月一日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

トシテ右ノ措置ハ支那側約束ノ次第ニ反シ不都合千万ナルヲ以テ直ニ外交部ニ嚴談ヲ遂クヘキモ膠州灣ノ現状ニ鑑ミ日本國政府ノ承諾ヲ得シテ勝手ニ任命シタル税関長ヲ派遣スルコトハ面白カラサル事態ヲ生スヘキニ付兎ニ角差向立花ニ出發ヲ見合セシメラレタキ旨申入レタルニ「アグレン」ハ尚執拗ニ權限問題ヲ云為シタルモ結局出發見合ノ電訓ヲ發スヘキ旨承諾シタル趣ナリ尚其際出淵ヨリ試ミニ黒沢ノ件ニ付テハ支那当局ヨリ相談ヲ受ケタルコトアリヤト推問シタルニ断シテ然ルコトナク支那側ニテハ黒沢カ立花ヨリ上席ナルカ為漠然之ヲ擬シタルモノナルヘキモ自分ハ立花ヲ適任ト認メ任命シタル次第ナリト答ヘ最後ニ其私見トシテ膠州灣税関ハ戦局終了迄独治時代ノ制度ニ則ルコトトシ可成速ニ通商ヲ開始スルニ至ランコトヲ切望スト述ヘタル趣ナリ

三五八 十二月一日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

中國政府ノ青島税関長ニ立花ヲ独断任命ノ不都合ニ付曹外交次長ニ嚴談ノ件

第八三八号

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三五八

「アグレン」総稅務司ヨリ立花ヲ青島税関長ニ任命シタルニ付便宜供与アリタキ旨申越ノ件

第八三七号

十一月二十八日午後「アグレン」ヨリ膠州灣税関長Wilker病氣ニ付其部下ト共ニ成ルヘク速ニ任地ヲ引揚ケシメ新ニ立花ヲ同税関長トシテ派遣スルコトニ決定シタルヲ以テ同人青島赴任ノ際十分諸事便宜ヲ与ヘラレタキ旨書面ヲ以テ依頼シ来レリ右ハ從來交渉ノ成行ニ顧ミ甚タ意外トスル所ナルニ付本官ヨリ折返シ書面ヲ以テ同税関ノ件ニ付目下支那政府ト交渉中ナルニ付立花任命ノ義ハ暫ク見合セラレタク委細月曜日(十一月三十日)面談スヘキ旨申送置キタリ当日本官微恙ノ為外出ヲ得サリシニ付出淵ヲシテ「アグレン」ヲ往訪委細懇談セシメタルニ「アグレン」ハ日支兩國間ニ如何ナル交渉アルヤハ承知セサルモ元來税関長ノ任命ハ自分ニ屬シ原則トシテ独断専行ノ自由ヲ有スルヲ以テWilkerノ健康状態ニ顧ミ速ニ後任者派遣ノ必要ヲ認メ立花ヲ差向クルコトニ決シ已ニ發令済ニ付一兩日中ニモ出發スヘシト述ヘタルヲ以テ出淵ヨリ總稅務司ノ權限問題ハ別

往電第八三七号ニ関シ十一月三十日夕出淵ヲシテ曹汝霖ヲ往訪立花任命ノ件ニ付其不都合ヲ指摘シテ嚴談セシメタルニ曹汝霖ハ膠州灣税関組織問題ニ付テハ曩ニ日置公使ヨリ申出ノ次第モアリ日本國政府ノ意向ヲ參酌シ十一月二十一日小幡代理公使ニ向ヒテ黒沢ヲ正トシ英人ヲ副トスルノ提議ヲナシ尚陸公使ヲシテ松井次官ニ同様申出デシメタルニ其節松井次官ハ黒沢ノ任命ハ好マシカラサル意味合ヲ洩ラサレ且英人ヲ副トスルコトハ絶対的ニ不同意ナルモ下級役員ニ英人ヲ入ルコトハ考慮ノ余地ナキニアラサル旨答ヘラレタル趣十一月二十四日電報ニ接シタルニ付日本國政府ニテハ此際支那側ニ於テ税関長ヲ任命スルコトハ異存ナキモ黒沢好マレサルモノト認メ即チ立花ヲ任命シタル次第ナリト述ヘラレタルニ付出淵ヨリ松井次官ト陸公使トノ會談ニ関シテハ何等承知スル所ナキモ支那側ニ於テ勝手ニ任命スルコトヲ承諾スルカ如キコトアルヘキ筈ナク要スルニ帝國政府ニテハ十一月二十五日小幡代理公使ヨリ申入レ置キタル通り税関員全部ヲ日本人トスルコトヲ絶対必要ト認メ且追テ何分ノ通知ヲナス迄支那側限リ勝手ニ措置セサルコトヲ欲スル次第ナリ尚既ニ支那側ニテモ承諾セラレタル義

ニ付今回独断のニ立花ヲ任命シタルハ極メテ不都合ト認ムルニ依リ早速政府ニ稟請ノ上代理公使ヨリ重テ嚴談スル所アルヘク尚立花出発ノ義ハ「アグレン」ト交渉ノ結果差向キ見合セシムルコトトナシタル旨ヲ告ケ尋テ黒沢ニ関スル提議ハ総稅務司ト相談ノ結果ナリシヤト試問シタルニ無論相談セリト答ヘタルニ付「アグレン」ハ全然之ヲ否認シ居ル旨ヲ告ケ其矛盾ヲ詰問セルニ右ハ外交部ヨリ直接相談シタル訳ニハアラサルモ稅務処ヨリ相談シタル筈ナリト胡麻化シ不得要領ノ答弁ヲ為シタル趣ナリ

察スルニ今回支那側ニ於テ急遽立花ヲ任命シタルハ我方ニ於テ随意ニ税関長以下ヲ任命シ税関制度ヲ改ムルモノト思料シ機先ヲ制スル為右任命ヲ決行シ從來ノ通膠州灣税関ヲ繼續セントノ底意ニ出デタルモノト認メラル、ニ付此際立花任命ニ対シ抗議スルト共ニ我方ヨリ速ニ具体的方案ヲ示シ此上事態ノ紛糾ヲ防止スルコト得策ト思料ス至急御詮議ノ上何分ノ義御電訓ヲ請フ

三五九 十二月二日

加藤外務大臣ヨリ
在中國小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関運當ニ関スル我方ノ方針ニ付回訓

三六〇 十二月三日

大島陸軍次官ヨリ
松井外務次官宛

中国政府トノ交渉纏ル迄我軍ニ於テ青島税関事務執行ノ件

附 記一

十二月二日在青島守備軍司令官發陸軍參謀總長宛電報拔録

青島守備軍税関押収ノ件

二

十二月四日青島税関ニ関シ陸軍省畑中佐ト外務省係官トノ会谈要旨

陸軍省
達 陸軍省第一四一四号 (十二月三日接受)

大正三年十二月三日

陸軍次官 大島健一(印)

外務次官 松井慶四郎殿

独立第十八師團參謀長ヨリ支那政府ト何分ノ交渉纏マル迄在青島支那海關ノ事務ヲ執行スル必要ヲ認ムル趣ヲ以テ何分ノ指示ヲ仰キ度旨電報有之候ニ付左記ノ通返電致置候間及通牒候也

左 記

貴電ノ通り税関事務ヲ我軍ニテ執行シ差支ナシ但シ凡テ前例ニ依リ且ツ收入及徵稅ノ經費ヲ明瞭ニシ後日支那政

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三六〇

ノ件

第五八五号

貴電第八三八号ニ関シ

帝國政府ニ於テハ青島税関ニ関シテハ貴電第八三七号末段「アグレン」希望ノ如ク大体從來独逸カ為シ居リタル所ヲ襲フヘキ意向ニシテ從テ税関員モ独逸時代ト略同數ノ邦人ヲ入ル、ニ止ムヘク右ニ付テハ税関長以下ノ候補者全部決定次第之ヲ貴官ニ郵報シ貴官ヨリ支那政府ニ推薦セシメ其上ニテ正式ニ支那政府ヨリ任命ヲ受ケシムル考ナリ右税関長以下孰レモ内地ニテ税関事務ニ經驗深ク且人物技倆共ニ優秀ナル者ヲ選ヒ又外國語ノ素養ニハ重キヲ置キ中ニハ支那語ニ熟達セルモノヲモ交フル積ナリ尤モ總稅務司側其他中央トノ意志疏通等ニ便ニセンカ為一兩名ハ現在支那税関事務ニ從事セル本邦人ヲ採用スルモ可ナルベシ右ノ趣ハ可然支那当局ニ内話シ置カレ差支ナシ以上ノ如キ都合ナルニ付十月十七日付政機密送第三三四号及十月三十一日附通送第二二七号往信候補者支那側ニ申入方ハ見合セ置カレ度シ又青島ノ通商ハ掃海事業完了次第成ヘク速ニ開始スル積ナルニ付御含迄申添フ

府ニ引継ク場合ニ於テ遺漏ナカラシメラレタシ

(附 記一)

十二月二日在青島守備軍司令官發參謀總長宛

電報拔録

青島守備軍税関押収ノ件

本一日(十二月一日)軍參謀ハ次ノ通告ヲ軍司令部ニ於テ税関副長ニ向ヒ口頭ニテ行ヘリ

大日本青島守備軍司令官神尾中将ハ軍ノ必要ニ依リ海關ヲ押収ス

覺書ハ二日交付ノ筈

(附 記二)

十二月四日青島税関ニ関シ陸軍省畑中佐ト外

務省係官トノ会谈要旨

大正三年十二月四日陸軍省畑中佐來省別紙甲号ノ通電報アリタル処(一)右ノ數丈日本人ヲ差向ケ差支ナキヤ(二)又青島税関ハ何時頃支那ニ引渡スコト、相成居ルヤト尋ネタルニ付政務局長ニ經伺ノ上大体在支小幡代理公使往電第五八五号ノ趣旨ヲ述ヘ且当方ニテハ最早近日日本件任命方ニ付支那政府ニ推薦ヲ行フ積ナル旨竝税関員適確ノ員數ハ実地ニ就キ

五五九

決定スルコト、致度旨答へ置ケリ尚十二月三日東京着参謀
総長宛青島守備軍司令官電報中ニ「海關押収」云々ノ語ア
リタルニ付為念青島ノ税関員ハ我方ヨリ推薦スルモ其任命
ヲ行フモノハ支那政府ナル旨繰リ返シ説明シ置ケリ

因ニ別紙乙号ニヨレハ従前支那税関ニ勤務シタル独逸人ハ
五十七人ナリトアリ(小村印)

(別紙)

甲号

電報 十二月二日午後五時十分發
十時四十八分着

参謀次長宛

浄法寺少将

差向キ必要ナル税関事務官補四十、鑑査官補六、監視五、
監吏三十急キ派遣方取計ハレタシ右ノ内ニハ埠頭事務要員
ヲ含メリ

乙号

電報 十一月二十六日午後七時十分發
十一時十分着

補任課長宛

出征十八副官

次ノ通黒田大蔵大臣秘書官へ伝ヘラレタシ

備聘(シ)ニ応シ難シ又将来支那税関事務執行ノ為要スヘキ
官吏税関事務官補三十人税関監査官補十五人税関監視十人

任命スル様措置方訓令ノ件

政機密送第三八九号

本件ニ関シ往電第五九三号ヲ以テ申進シタル通り青島税関
ニ採用セシムヘキ本邦人役員中内勤員(Indoor staff)ノ分
左記ノ通り決定シタルニ付別紙履歴書相添茲ニ及通報候間
往電第五八五号ヲ以テ申進候如ク貴官ヨリ支那政府へ推薦
ノ上我方推薦通り正式ニ同政府ニ於テ任命ノ運ニ至ル様至
急御措置相成度尤モ同電ニテ御承知ノ如ク相互ノ便宜ノ為
右ノ外現在支那税関事務ニ従事セル本邦人一兩名ヲ加フル
コト、致度其人選ハ支那側ニ一任可致候間之亦可然御取計
相成度將又外勤員(Outdoor staff)ハ目下人選中ニ付決定
次第直ニ可及追報候間右ニ御含置相成度此段申進候也
追テ左記ノ内大槻竜治ハ其人物才能竝ニ從來ノ経歴ニ鑑
ミ税務司トシテ最上ノ待遇ヲ受ケシメ度希望ニ付之亦御
含置相成度此段申進候也

左記

税務司

大槻 竜治

副税務司

佐藤友太郎

幫辦 二等A.

公森 太郎

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三六三

税関監吏五十人外ニ支那八十五人ヲ要ス若シ從來独乙政府
所管埠頭事務ヲモ合セ行フトセハ更ニ税関事務官補三十人
ヲ要ス従前支那税関ニ勤務シタルモノ独乙人五十七人支那
人百三十三人ナリ 天宅稅務事務官

三六一 十二月五日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関内勤員人選決定ニ付中国側ニ於テ任
命スル様措置方訓令ノ件

第五九三号

青島税関内勤員人選決定シ十二月五日貴官ニ郵報シタルニ
付往電第五八五号ヲ以テ申進シタル通り直ニ支那政府ニ於
テ任命方取運フ様可然措置アリ度シ税務司ハ熊本稅務監督
局長大槻竜治、副稅務司ハ横浜税関監査官佐藤友太郎、幫
弁ハ稅務監督局事務官公森太郎以下六名ナリ尚外ニ便宜ノ
為現在支那税関事務ニ従事セル本邦人一兩名ヲ加フルコト
ト致度右ノ選定ハ支那側ニ一任スヘシ

三六二 十二月五日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛

青島税関内勤員氏名通報並中国政府ニ於テ右

同	二等B.	太田 孝造
同	三等A.	安藤 一郎
同	三等B.	中島 有恒
同	四等B.	山口 昇
同	四等B.	上野 利松

註 履歴書其他ノ附属書ヲ省略ス尚上野利松ニ関シ欄外ニ左ノ
記入アリ
「十二月十六日辞退シタリ其旨北京へ電報スミ」

三六三 十二月六日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関員任命ニ関スル我方要請ヲ曹外交次
長峻拒シ一対案ヲ提議ノ件

第八四四号

貴電第五八五号御電訓ノ次第ハ十二月四日日本官曹汝霖ヲ訪
問シ委曲内話シタルニ曹ハ右ニ対シ青島税関問題ニ関シテ
ハ從來独逸ノ占メタル地位ヲ日本国ニ於テ繼承スルハ強チ
不当ニアラサルヘキモ夫レ以上ノ事ヲ要求セラルルコトハ
到底無理ト云フノ外ナク且税関員任用ニハ一定ノ例規アル
ヲ以テ之ニ準拠スルコトナク日本ニテ人選シタル税関長以

下ニテ青島税関ヲ組織スルコトハ総稅務司ニ於テ同意シ難キ所ナルヘク（続ク）

第八四四号ノ二

要スルニ本件ニ関シテハ支那政府ニ於テ既ニ一再ナラス交譲ノ精神ヲ以テ日本国政府ノ意ニ叶フ様努メタルニ拘ハラス日本側ノ要求ハ苛刻ニシテ到底支那側ノ忍フ能ハサル所ナルヲ以テ寧ロ青島税関百万ノ收入ヲ失フモ斯ノ如キ要求ニハ同意シ能ハスト縷陳シ極メテ強硬ノ態度ヲ以テ不承諾ナルコトヲ断言シタリ依テ本官ヨリ日本国ノ提案ガ独逸国ノ占メタル地位以上ヲ望ム趣旨ニ非ラサル所以ヲ指摘シ仮ニ一步ヲ譲リ税関長以下ノ人員ヲ一時ニ日本国ヨリ派遣スルコトハ多分海關例規ニ適合セサル嫌アリトスルモ之ハ青島ニ於ケル交戦状態即チ一時ノ変化ニ伴フ自然ノ結果ニ外ナラスシテ目下ノ場合諸般ノ事項条規ニ準シ難キハ当然貴我双方ニ於テ予期セサルヲ得サルヘキ旨ヲ述ヘ尚本官本日ノ訪問敢テ議論ヲ闢ハスカ為ニ非ラス單ニ日本国政府ノ訓令ヲ奉シ其内意ヲ通センカ為ナレハ何レ稅務処等トモ十分協議ノ上日本国政府希望ノ通本件ヲ結了セラレタシト述ヘタル処（続ク）

（日本人）ノ為生スル欠員ハ新ニ日本国ヨリ補充スルコトトシ本件結了シタキニ付此旨至急日本国政府ヘ轉達アリタシト申出タルニ付本官ハ日本国政府ノ方針既ニ決定シ居ルコトナレハ之ヲ變更スルコト殆ト不可能ト信スルモ折角ノ依頼ニ付兎ニ角電報スルコトトスヘシ併シ既定方針變更ノコトハ到底六ヶ敷カルヘキ次第ハ十分承知シ居ラレタキ旨答ヘ置ケリ之ヲ要スルニ支那側ハ前述ノ点迄折合来レル次第ナルカ此ノ決定ハ五日午前稅務処ニ於テ「アグレン」梁士詒等會議ノ結果ト察セラル右ハ恐クハ先方ノ讓歩シ得ヘキ最後ノ程度ナルヘシト観測セラル若シ此ノ辺ニテ折合フコトナク飽迄我主張ヲ固執スルニ於テハ前日来ノ曹ノ口吻ニ徴スルニ或ハ支那側限リニテ膠州灣租借地外ニ支那税関ヲ新設スルカ如キ態度ニ出ツルヤモ保シ難シ將又最近「モリソン」ハ亀井ニ対シ我要求ヲ批評シテ過酷ナリトシ本件ハ貿易上外国ノ利害ニモ影響スル問題トシテ漸ク当地外国人間ノ注意ヲ惹起シツ、アルノミナラス總稅務司以下ノ感情ヲ害シ巨額ナル日本国ノ対支貿易上無形ノ不利益ヲ来ス次第ナラスヤト陳述シタル趣ナルカ右ハ一応ノ理由アルヤニ存セラルルノミナラス支那税関事務ニ全然經驗ナキ我稅

第八四四号ノ三

曹汝霖ハ稍々激昂ノ体ニテ頻ニ我要求ノ無理ナルヲ繰返シ斯克日本国ニ於テ命令的ニ無理ナル要求ヲ強要セラルルニ於テハ支那政府トシテ断然応諾シ難キ旨ヲ言明スルト同時ニ別ニ其所信ヲ断行スヘキ措置ヲ執ルノ外ナシト極言シ近來ニナキ強硬ナル態度ヲ示シタリ次テ本官カ支那政府ノ断行セラレントスル所信ナルモノハ如何ナルモノナルヤヲ反問シタルニ対シ曹汝霖ハ今之ヲ明言スルヲ得スト述ヘ甚タ不機嫌ノ様子ナリキ右会见ニ於ケル曹ノ態度及口吻ニ依リ察スルニ本件ニ関シ我要求ヲ拒絕シタル上執ルヘキ最後ノ方法ニ付テハ既ニ「アグレン」及梁士詒等ト十分打合ヲ了シ何等カ強硬手段ヲ工夫シ居ルニアラスヤト感セラレタリ（続ク）

第八四四号ノ四

越テ十二月五日曹ハ秘書施履本ヲ以テ支那政府ニ於テハ十分研究ノ結果兎ニ角立花ヲ税関長トシ目下支那税関ニ在勤スル日本人ヲ出来得ル丈多ク選定シテ之ニ隸屬セシメ不足ノ人員ハ英国人ヲ以テ（日英聯合ニテ青島ヲ攻略セル事情ニ鑑ミ）之ニ充当スルコトトシ更ニ青島ヘ派遣スル税関員

関吏員ヲ強テ任用セシメ以テ總稅務司ノ節制ニ服セシメントスル要求ハ支那側ヨリ見テ容易ニ承諾シ得サル所ナルヘキハ勿論「アグレン」等ニ於テモ極メテ不満ヲ感シ居ルヘク且本件交渉ノ經過ニ顧ミルモ我ヲシテ絶対的ニ英人ヲ排斥セシメタル措置ハ英国公使初メ英人ニ面白カラサル感想ヲ与フルニ至ルヘク彼レ是レ綜合シ来ルトキハ本官ノ私見トシテハ此際寧ロ支那側ノ申出ニ応スルコト諸般ノ關係ニ顧ミ却テ得策ナラスヤト思考ス篤ト御詮議ノ上何分ノ義御電訓ヲ請フ 終

三六四 十二月八日 加藤外務大臣ヨリ
在英國井上大使宛（電報）

青島税関員ニ日本人任用ニ関スル交渉ノ成行

任国政府ニ説明方訓令ノ件

第三四一号

我軍青島ヲ占領シ軍政ヲ施行シタル結果同地ニ在ル支那税関モ自然我管理ニ帰シタル処帝國政府ハ銳意占領地ノ整理ニ努メ成ル可ク速ニ青島ノ通商ヲ開始スルト共ニ青島税関ニ付テハ税関員ハ本邦人ヲ以テ之ニ充ツルコトトシ従前独逸ノ占メ居レル地位ヲ我ニ於テ繼承スルノミニ止メ右ノ了

解ノ下ニ出来得ル限り速ニ同税関ヲ支那側ニ引渡スコトニ方針ヲ定メ其ノ趣旨ヲ支那政府ニ申入レタルニ同政府ヨリ税関員中ニ英國人ヲモ加ヘ度旨ヲ申出デタルカ右ハ税関ノ關係ヲ複雑ナラシメ以テ我ヲ牽制セントスル支那側ノ慣用手段ト認メラルルノミナラス斯クテハ我地位ヲ從前独逸ノ占メタル地位以下ニ置クコトト成リ甚ダ面白カラズ加之全部本邦人ヲ以テ独逸人ニ代ラシムルコトノ此際極メテ至當ノ措置ナルハ在支英國公使ニ於テモ日置公使ニ談話シタル所ニテモアリ旁英人排斥ノ意味合ハ毫無之モ支那側ノ提議ハ之ヲ斥ケ別ニ本邦側ヨリ適當ナル候補者ヲ撰定推薦シ之ニ支那政府ヲシテ在来ノ支那税関吏中ヨリ撰任セシム可キ本邦人若干名ヲ加ヘテ組織スルコトトシ右ノ意味合ニテ支那側トノ間ニ話ヲ進メ將ニ候補者ヲ推薦セントセル際支那政府ヨリ突然公文ヲ以テ既ニ十一月二十七日立花大連税関長ヲ青島税関長ニ任命済ナル旨通告シ来レリ依テ小幡代理公使ヲシテ右ハ從來ノ話合ニ戻リ我好意ヲ没却シタルモノナルノミナラス千八百九十九年膠州税関設置ニ関スル独支協定第一条並ニ明治四十年大連税関ニ関スル日支取極第一条及第三条ヲ無視シタル極メテ不信ノ措置ナルヲ以テ右

三六五

十二月八日

加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関員任用ニ関シ日本側申入通リ至急実
行スル様中国側ニ説得方訓令ノ件

第六〇〇号

貴電第八四四号御電稟ノ次第閱悉右ハ往電第五九三号ト行違ヒタルモノト思考スル処我方ニ於テハ是迄屢々申進シタル通り大体從來独逸カ為シ居リタル処ヲ襲ハントスルニ過キス税関員ノ人選ヲ主トシテ我方ニ於テ行フハ目下青島カ軍政ノ下ニ属シ日独依然交戦ノ状態ニアリ戦局終了ノ見据モ付カサル今日当然ノ措置ニシテ常時ト同一規ニ出テ得サルハ自然ノ成行ニ属シ実ヲ云ヘハ租借地ニ於ケル支那税関ナルモノ其レ自身カ既ニ変態ノ位置ニアリ其租借国ト第三国ト交戦ノ結果該租借地カ右第三国ニヨリテ占領セラレ為ニ其地ニ於ケル支那税関組織問題カ我方申入レノ如キ成行ト相成ルヘキハ支那政府ニ於テ当然予期シ居ルヘキ所ニシテ此辺ノ消息ハ素ヨリ説明ヲ俟タスシテ支那側ニ於テヨク承知シ居ルヘキコトナリ其実独逸時代ニ於テモ支那政府ハ青島税関員ノ任命ニ付テハ青島税関取極ニヨリ独逸人ヲ採

任命ハ承認スルヲ得サル旨嚴重交渉セシメタルモ支那側ニ於テハ容易ニ我提案ヲ容ルル模様ナク殊ニ曹外交次長ノ如キハ已ムヲ得サレハ支那ハ其所信ヲ斷行スル外ナシ杯放言シ稍不穩ノ言動アリタル程ナルニ付更ニ小幡ニ電訓シ日独交戦ノ状態ハ依然繼續シ居リ戦局ノ見据モ付カサル此ノ際而モ軍政ノ下ニ在ル占領地ニ於テ從來敵國ノ為シ来レル所ヲ其儘踏襲スルニ過キサル我措置ハ極メテ穩當ニシテ候補者推薦モ從前支那カ独逸ノ意嚮ニ反シテ青島税関員ノ任命ヲナシタルコトナキ事態ニ顧レハ亦当然ノコトナルヘキ旨重テ申入レシメタリ右様ノ成行ニテ本件ハ結了迄尙多少ノ時日ヲ要ス可ク自然世間ノ注意ヲ惹キ或ハ独逸側ノ日英離間策ニ利用サルル等ノ惧ナキニ非サルヘク且「モリソン」一派ノ英人裏面ニ画策シ居ルヤノ疑モアリ旁適當ノ機會ニ於テ貴地当局ヲシテ十分事態ヲ了得セシメ帝國ノ主張ハ徒ラニ英人ヲ排斥セントスルモノニアラサルコトヲ明ニシ置クコト緊要ト存セラルルニ付右ノ成行任國政府へ説明方可然御措置アリタシ

右訓令トシテ在米大使へ転電アリタシ

用セサルヘカラサルノミナラズ其人選ハ常ニ主トシテ独逸ノ意嚮ニ從ヒ或ハ少クモ独逸ノ意向ヲ無視シタル任命ヲ行ヒタルコトハ嘗テナカリシニ相違ナシ況ヤ今回我方ノ措置ハ只候補者ノ推薦ナル内部ノ行為ニ属シ外ニ表ハレタル任命其モノハ全部支那政府ニ於テ行フモノ故青島現下ノ事態ニ顧レハ何等支那政府ニ於テ之ヲ無理ナル要求ト見做スベキ理由ナシ実ハ軍政ノ必要上ヨリスレハ青島税関モ当分我方ニテ管理ヲ実行スルコトノ致度モ成ヘク速ニ之ヲ支那政府ニ引渡ス方支那政府ノ面目ヲ立ツル上ニ於テモ穩當ナリト認メ今回ノ如ク斯ク速ニ之カ引渡方ヲ取計ハントスルニ至レルニ支那当局ハ当初ヨリ好意ヲ以テ我ニ對セス殊ニ往電第五八二号末段ノ通り独支取極及日支間ノ明治四十年五月大連海關協定第一条並第三条ヲサヘ無視シテ突然立花ヲ任命シ或ハ我方再三ノ説明ニモ拘ラス無理ニ他國人ヲ割込マシメントスルカ如キハ独逸カ占メ居リタル地位ニモ劣リシ事態ヲ我ニ強キントスルモノニシテ貴電第八四四号冒頭ニ曹汝霖カ青島税関問題ニ関シテハ從來独逸ノ占メタル地位ヲ日本ニ於テ繼承スルハ強チ不當ニ非ス云々ノ言ト全ク矛盾スルモノト云ハサルヘカラス支那側ハ貴電第八四四号

ノ四ノ如ク兎角英軍青島攻撃参加ヲ理由トシテ他国人ヲモ税関員ニ加ヘンコトヲ求ムルモ日本人ヲ以テ青島税関ノ独逸人ニ代フルコト、スルノ至当ナルハ貴電第八一九号ノ通り現ニ英國公使ニ於テモ言明シ居レル所ナリ又同税関役員ノ選定ニハ帝國政府ニ於テ最意ヲ用キ且往電第五九三号末段ノ通り現在支那税関事務ニ従事セル本邦人若干名ヲ加フルコトシ而モ右ノ選定ハ之ヲ支那側ニ一任セル以上實際ノ運用ニモ何等支障ヲ生スルノ虞ナシト信ス就テハ支那當局ノ態度ハ帝國政府ノ甚意外且遺憾トスル所ナル旨ヲ述ヘ以上ノ趣可然支那當局ニ説示セラレ支那政府ニ於テ是非共帝國政府申入レ通リ至急実行スル様篤ト説得相成度シ

三六六 十二月八日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関員ノ任命問題ニ関シ「アグレン」ハ
総税務司ノ税関員任命権ヲ極力主張ノ件
第八四八号

十二月七日日本官総税務司訪問ノ上十一月三十日出淵ト同人トノ会談ノ件ニ付テハ曩ニ帝國政府ヘ内報取置キタル次第モ有之タル処本國政府ニ於テハ青島税関ニ関シテハ大体

力反対セサルヲ得サル所ナリト断言シ其態度頗ル強硬ナルヲ認メタリ(續ク)

第八四八号ノ二

茲ニ於テ本官ハ現ニ青島税関長任命ニ付テハ独逸官憲ト協議ヲ要スルコト、ナリ居ルニ非ラスヤ果シテ然ラハ総税務司ノ任命権ナルモノニハ種々例外ノ場合モアル様考ヘラル如何ト反問セルニ「アグレン」ハ此取極ハ「サー、ロバート、ハート」時代ヨリノ約束ナルニ相違ナキモ是レトテ支那税関ニ在勤スル独逸人ヨリ任命シ独逸國公使ノ異存ナキヤ否ヤヲ確ムルニ過キス且從來ノ例ニ徴スルニ一回モ独逸側ニ於テ拒否シタルコトナク総税務司トシテモ拒絶セラルルカ如キ人物ヲ任命セサルヲ以テ決シテ從來不都合ノ起リタルコトナシト弁解シ進ンテ若シ日本ニ於テ立花ノ税関長タルヲ是認セラルレハ出来得ル限り現在支那税関中ニ在ル日本人ヲ青島ニ派遣シ不足ノ所ハ他國籍人ヲ以テ之ヲ補ヒ更ニ青島大連兩租借地ガ日本國権配下ニ歸シタル今日其事態ニ順応スル為支那税関日本人ヲ増聘スルノ至当ナルヲ認ムルヲ以テ此際新ニ日本公使館若ハ外務省ニ依託シテ他開港場税関ニ日本人ヲ採用スルコトハ自分ニ於テ切ニ考慮シ

独支兩國政府間ノ協定ヲ襲用スル方針ナルモ同税関組織人員ニ関シテハ此際帝國政府ヨリ適當ナル候補者ヲ推薦シ支那政府ノ任命ヲ得タキ希望ニテ現ニ外交部ト交渉中ナルガ未タ双方ノ意見合致ヲ見ルニ至ラサル旨陳述シタルニ「アグレン」ハ約二時間ニ亘リ支那税関ノ沿革租借地ノ國際法上ノ地位ヨリ自己ノ委任ヲ受ケタル権限等ニ付縷述スル所アリ之ヲ要スルニ「アグレン」ノ所見ハ日本ノ独支間ノ協定ヲ襲用シテ青島ニ於ケル支那税関ヲ認メムトスルハ極メテ賢明ナル態度トシテ承服スル所ナルモ税関長以下ノ人員ヲ此際悉ク日本國ヨリ推薦シテ支那政府ノ任用ヲ要求セントスル一事ハ實際問題トシテ税関事務ノ運用上甚シキ支障アルハ勿論斯ノ如キ先例ハ断シテ之レナキ(大連ノ例ヲ引用シ説明シタリ)ノミナラス税務司以下ノ税関員任命ノ權ハ絶対且全然総税務司タル自己ノ手中ニ存スル次第ナレハ支那政府ト日本國政府トノ間ニ於テ如何様ニ纏マルトモ自分ニ於テテ容喙ノ限ニ在ラサルモ外國筋ヨリ支那政府ヲ強要シテ総税務司ノ税関員任命権ヲ侵サントスルコトニハ極

居ル所ナル旨ヲ述ヘ最後ニ「アグレン」ハ青島税関ノ地位ハ日支兩國間ノ協定ヲ待テ決定スヘキ問題ナルガ差当リ現任税務司(Wilzer)ハ病氣ノ為一日モ速ニ離任致サセタキニ付遲滞ナク此際立花ヲ派遣シ外部ニ對シ税関長タル職權ヲ行フコトハ日本官憲ノ承認ヲ要スルヲ以テ暫ク別問題トシ差向キWilzer 離任後ノ税関内部ノ事務ヲ整理セシメタキ希望ヲ漏ラシ居レリ右「アグレン」トノ会談一応御査閱ノ上前電第八四四号ニ對スル御詮議ノ結果至急何分ノ御電訓アリタシ

三六七 十二月十日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関員任命問題ニ對スル日本側要求ハ穩
當ナラサル旨ノ「モリソン」所見報告ノ件
第八五二号

貴電第六〇〇号敬承本件ハ貴電第五九三号前段御來示ノ貴信接到次第篤ト御訓令ノ趣旨ヲ支那政府ニ申入レ我要求貫徹ニ努力致ス所存ナリ十二月十日日本官ハ他用ヲ以テ「モリソン」ニ面会ノ際彼ハ青島税関問題ニ付キ所見ヲ述ヘントテ大要左ノ諸点ヲ挙ケ我要求ノ穩當ナラサル旨ヲ叙述セリ

(一)青島税関長任命ニ付テハ支那側ヨリ独逸国公使ニ相談スルコトト相成リ居レルモ第一回ノ税関長タル Ohlmer モ現税関長タル Wiser モ共ニ多年支那海關事務ニ従事シ居リタルモノヲ総稅務司ニ於テ適任ト認メ任命シタルモノナリ決シテ新タニ独逸国ヨリ推薦シタルモノヲ採用任命シタルモノニアラス若シ日本ノ今回ノ要求ヲ容ルルコトナレハ從來英國人ヲ主腦トスル支那海關ノ Prestige ヲ損スルコトナルノミナラス租借地ヲ有スル各国ハ同様ノ要求ヲナスニ至ルヘク到底承認スヘカラル惡例ヲ貽スモノトシテ「アグレン」氏ニ於テモ之レニ同意ヲ肯セサルヘク信セラ

(二)支那ノ税関ハ外債及匪事件賠償金ノ担保トナリ居ル結果税関問題ニ対シテハ各国ハ支那共和国政府ト同様ニ重大ナル利害關係ヲ有スル次第ナルヲ以テ青島税関問題ノ成行ニハ各国共ニ多大ノ注意ヲ払ヒ居リ現ニ英國公使館ニテ聞キ得タル所ニ依レハ在北京重ナル各国公使ハ日本國ノ要求ヲ研究シ何レモ之ヲ非難シ居ル趣ナリ(三)日本國ヨリ新ニ推薦スヘキ税関長以下ノ技倆如何ハ素ヨリ知ルヲ得サルモ要スルニ支那海關事務ニ經驗ナク且其法規慣例等ニ不案内ナルモノヲシテ税関事務ヲ管理セシムルコトハ事實上不便

支障アリ総稅務司ニ於テ円滑ニ之ヲ指揮シテ税関事務ノ統一アル運用ヲ期スルコト殆ト不可能ナルヘク延イテ各国債權担保トナリ居ル關係上其利益ヲ損スル結果ヲモ来スコトナルヘシ

概要上述ノ理由ニテ「モリソン」ハ斯ル些事ノ為メニ日本國カ各国殊ニ英國トノ感情上其他ニ於テ conflict ヲ惹起スルカ如キハ決シテ好マシキコトニアラス自分トシテハ是非円満ナル解決ニ到達センコトヲ切ニ希望シ居ル次第ナリト内話セリ右御参考迄

註 「モリソン」ハ大總統府顧問ナリ

三六八 十二月十一日 加藤外務大臣ヨリ
在中國小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関ニ日本人任命ニ關スル日本側主張ノ無理ナラヌ次第ヲ總稅務司ニ説示方訓令ノ件

第六〇六号

貴電第八四八号ニ關シ「アグレン」ニ對シテモ我主張ノ無理ナラヌ次第ヲ能ク徹底セシメ出来得ル限り同人ヲ納得セシメ置クコト必要ト存セラル、ニ付往電第六〇〇号ノ趣旨ニテ可然同人ニモ説示シ置カレタシ尚右貴電ニ依レハ「ア

グレン」ハ當方主張ノ如キ取引ハ(一)先例ナク(二)實際上事務運用ニ差支アリ且(三)自個ノ有スル完全ナル任命權ヲ侵害サル、次第ナリト主張シ居ル趣ナルカ目下青島ハ往電第六〇〇号前段ノ通りノ状態ニテ大連税関設置ノ際トハ事情全然異ナルモノアルノミナラス一方団匪事件ノ際ニハ天津軍政署ニテ税関事務ニ當リ居リタル各人(内本邦人数名アリ)ヲ軍政事務引継ノ際全部支那海關ニ雇用セシメ後比較的高キ地位ニテ海關幫辦ニ正式任命セシメタル実例モアリ又事務上ノ不便ハ往電第六〇〇号末段ノ如キ取引ヲ為ス以上ハ之ヲ除去シ得可ク將又任命權云々ハ要スルニ支那政府内部ノ關係ニテ外ニ向テ主張シ得可キ筋合ニ非ルヘク思考セラ

ル御參考迄申添ユ

三六九 十二月十四日 加藤外務大臣ヨリ
在中國小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関外勤員候補者氏名及履歷書郵報ノ件

第六〇九号

青島税関 outdoor staff 三等巡檢候補者姉齒税関監視以下合計卅六名履歷書十二月十五日郵送ス

三七〇 十二月十五日 加藤外務大臣ヨリ
在中國小幡臨時代理公使宛(電報)

青島税関ニ日本人職員任命方ニ關スル訓令執行ノ件

第八六〇号

貴電第六〇〇号御訓令ノ趣旨ハ十二月十四日篤ト曹汝霖ニ申入レ尚先方熟考上ノ便宜ヲ慮リ右御電訓ノ趣旨及前日來ノ貴電要領ヲ參酌シ我主張ノ正當ナル理由ヲ敷衍シタル「エード、メモアール」ヲ手交シ同時ニ政機密第三八九号御申越ノ大槻以下税関内勤員人名ヲ帝國政府ノ推薦候補者トシテ通告シ置ケリ曹ハ右ニ對シ過日来屢々論議セル如ク絶対ニ支那政府トシテ同意スル能ハサル所ト思料スルモ一応稅務処トモ協議シ兩三日中ニ確答スルコトトスヘシト答ヘタリ尚余談トシテ曹ハ右人名表ヲ一覽シ稅務司及副稅務司ヲ除キ他ハ或ハ何トカ工夫付カヌコトモナカルヘシト考フルモ稅務司副稅務司ヲ斯ノ如キ手続ニヨリ採用任命スルコトハ到底同意シ難キ所ナリト繰返シ居タリ

三七一 十二月十五日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

神尾司令官膠州税関押収ニ付書類及資金ノ解
放方「アグレン」総稅務司ヨリ要請ノ件

第八六四号

十二月十五日 Aglen 氏本官ヲ来訪シ在青島稅務司 Wilzer ヨリノ報告ニヨレハ神尾司令官ハ十二月一日附ヲ以テ軍ノ必要ニヨリ膠州海關ヲ押収スル旨ノ通告ヲナシ越エテ六日之レヲ実行シ (Wilzer ハ總稅務司ノ命令ニ非ザレハ海關ヲ立退ク事ヲ得サル旨抗議シ結局 ejected under force セラレタリト云ヘリ) 同時ニ海關書類及資金ニモ封印ヲ施シ之ヲ差押ヘタル趣ナルカ軍ノ必要ニヨリ海關建物ヲ押収シタル行為ノ正当ナルヤ不正当ナルヤハ總稅務司トシテ批評ヲ試ムル事ハ暫ク之ヲ避クヘキモ支那海關ノ事務上ノ見地ヨリシテ其書類並ニ資金ヲ差押ヘラレタル事ハ差当リ甚タシク不便ヲ感スル次第ナリ元來日本軍力中立国臣民ノ私有財産スラ注意シテ保護シ來レルニ拘ハラス中立国タル支那政府ノ官有財産殊ニ諸外国債權ノ担保トシテ密接ナル關係アル公文書記録並ニ税関收入金ヲ押収シタルハ或ハ神尾司令官ニ於テ何等カノ誤解アルニ非ズヤト思料ス兎ニ角海關建物ノ押収ハ暫ク別問題トスルモ書類及資金ノ差押ヘラレ

三七二 十二月十七日 在中国日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

英國公使館參事官青島税関ニ日本人任用問題

解決ノ妥協私案提言ノ件

第八六八号

十二月十七日英國公使館參事官他用ヲ以テ本使ヲ来訪ノ際青島税関問題ノ成行ヲ承知シタキ旨申出タルニ付右ハ本国政府ノ訓令ニ基ク次第ナルヤト反問シタルニ何等サル義ニハ無之全ク自分一己ノ責ニテ御尋ネスル訳ナリト答ヘタリ然ルニ貴電第六一三号在英大使ヘ御電訓ノ次第モアルニ付其趣意ヲ内話シタルニ日本政府ガ支那政府ノ措置ヲ怒リ又從來独逸國ノ享有シ來レル權利及特典ヲ踏襲シテ日本人ノミヲ以テ青島税関ヲ組織セント主張スルコトモ共ニ頗ル当然ノ義ト思考スルモ支那税関ニ無關係ノ人物ヲ推薦シテ之カ任命ヲ要ムル点ハ独逸時代ノ慣例ニ異ナルノミナラス是レ實ニ這回困難ヲ生シタル原因ナリ抑々税関員任命ハ總稅務司ノ權限ニ屬シ且一定ノ例規モアルコトナレハ此際何トカ彼ノ体面ヲ害セサル方法ニテ解決ヲ計ル途ナカルヘキヤ例ヘハ現ニ支那税関ニアル日本人中ヨリ候補者ヲ選ビ日

タル事ニ付テハ日本軍ノ措置ヲ justify スヘキ理由ヲ知ルニ苦シム次第第二付至急日本国政府ヘ轉達ノ上余事ハ交渉ノ結果ニ俟ツ事トスルモ差当リ右書類及資金丈ナリトモ直チニ解放スル様取計ハレタキ旨申出タリ仍テ本官ヨリ本件ニ付キテハ未タ何等承知スル所ナキヲ以テ来意ノ次第兎モ角東京政府ヘ電報スヘキ旨答ヘ置キタルニ付御詮議ノ上何分ノ義御回電ヲ請フ

尚「アグレン」ノ来訪ヲ幸ヒ貴電第六〇六号御電訓ニ遵ヒ重テ我主張ノ無理ナラサル次第ヲ述ヘ特ニ团匪事件ノ際ニ於ケル実例ヲ挙ケテ篤ト説示シタル処天津都統衙門時代ニハ成程各人ヨリ臨時採用シタル人員ヲ海關ニ於テ引続キ採用シタルコトアルモ右ハ何レモ三等幫辦以下ノ比較的下級税関員ナリシノミナラス右ハ何レモ時ノ總稅務司タル「サー、ロバート、ハート」ノ自由意志ニヨリ採用任命シタルモノニシテ決シテ外国ヨリ press 若ハ force サレタルモノニアラス從テ今回ノ場合ニ援用シ得ヘカラストテ例ニ依リ頗ル強硬ナル態度ヲ固執シ到底我主張ヲ容ルヘキ見込ナキ様感セラレタリ

~~~~~

本国政府ノ承諾ヲ得テ任命スルト言フカ如キ方法ニテ折合フコト出来間敷ヤト述ヘタリ依テ本使ヨリ右最後ノ問ニ對シテハ本使限リ回答スルヲ得サルモ支那側ニ於テ立花ヲ任命ノ如キ背信ノ措置ニ出ツルコトナク我協議ヲ俟テ徐ニ希望ヲ開陳セハ或ハ何トカ辦法モアリシナランモ今日ト相成テハ最早我提議ノ貫徹ヲ計ル外致方ナキ羽目トナリタルヤニ考フル旨ヲ述ヘタルニ同參事官ヨリ事情ハ一応尤ナルモ本件ハ日支間ノ問題ナルノミナラス「インターナショナル、クエッション」ナルニ付特ニ慎重ナル考慮ヲ望ミタシト答ヘタルニ付本使ヨリ國際問題トハ如何ナル意味ナリヤト反問シタルニ支那税関ハ团匪事件償金等各國ノ債權担保トナリ居リ而カモ各國ニ於テ該担保ニ安心シ居ル所以ハ税関制度カ英國人ニ依リ主宰セラレ支那側ヨリモ將又外國側ヨリモ何等干涉ヲ享ケサルカタメナリ然ルニ今回日本國ヨリ從來ノ例規ニ拠ルコトナク支那税関事務ニ無經驗ナルモノヲ推薦シ其ノ任命ヲ要求シタルニ對シ總稅務司ニ於テ同意ヲ余義ナクセラルルカ如キコトトモナレハ忽チ其ノ「プレステイジ」ヲ失墜シ將來之レカ例トナリ他國側ヨリモ各自ニ都合好キ要求ヲ提出シ引テ税関制度ノ基礎ヲ薄弱ナラ

シムルニ至ルヘク此ノ点ハ列國ニ於テ懸念セサルヲ得サル所ナルヘシト述ヘ右ハ元ヨリ自分一己ノ意見ニ過キササルモ若シ本國政府ヨリ何等間合セ来リタル場合ニハ其意味ニテ答申スル積ナリト語レリ同參事官ハ目下公使不在ノタメ館務ヲ統轄シ居ル關係モアリ且右ハ本件ニ關スル英國側ノ意見ヲ代表スルモノト思考スルニ付御參考迄電報ス尚聞ク所ニヨレハ「アグレン」ハ本件ニ關シ頗ル強硬ナル決心ヲ有スルモノノ如シ今ヤ大問題ヲ目前ニ控ヘ居ル際ナレハ帝國政府ニ於テモ本件ニ關シ速カニ協調ノ途ヲ発見セラレンコト本官ノ敢テ希望スル所ナリ

三七三 十二月十八日 在中国日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

我軍ノ青島税関押収ニ對シ外交部抗議ノ件

第八七〇号

外交部ヨリ十二月十七日附覽書ヲ以テ往電第八六四号青島税関押収ノ件ヲ抗議シ右ハ既ニ陸公使ニ電報シ我政府ニ交渉ニ及ヒタルモ尚本官ヨリモ轉達シ置カレタシト申越セリ

三七四 十二月十八日 在中国日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

副税務司ハ任命セス税務司ニハ立花政樹ニ同意セラレ度尚税関一切ノ辦法ハ独支間從來ノ取極ヲ援照スヘシトノ旨ヲ申越セリ

三七五 十二月十九日 在青島淨法寺少將ヨリ  
明石參謀次長宛(電報)

近ク青島税関開始ニ付予メ中國政府ニ了解セ

シメ置ク必要アル旨船越參事官ヨリ加藤外務

大臣ニ稟申ノ件

極秘 取扱者 山口中尉

電報 大正三年十二月十九日

在青島 淨法寺少將

參謀 次長

左ノ通り加藤外務大臣ニ伝ヘラレタシ

第四号

物資欠之ノ為十二月二十八日ヨリ青島ニ一般船舶ノ出入ヲ許シ同時ニ税関事務ヲ開始スルコトニ決定相成居ル所北京ニ於ル交渉ノ解決ヲ待タシテ之ヲ決行スルハ支那側ヲシテ我ニ於テ恣ニ自由行動ヲ取ルモノト誤解セシメ總税務司等ノ惡感ヲ招キ諸種ノ不利益ヲ来スノ虞アルヘキニツキ

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三七五 三七六

青島税関ニ日本人任用ニ關スル我方申入ニ對シ中國外交部ヨリ回答覽書送附越ノ件

第八七一号

往電第八六〇号ニ關シ十二月十八日外交部ヨリ覽書ヲ以テ本月十四日小幡代理公使ハ日本政府ノ推薦セル青島税関員八名ノ表ヲ手交シ支那政府ヨリ任用セラレンコトヲ求メ右ニ付テハ團匪事變當時聯合軍ニ於テ任用セル税関員ヲ其儘採用セル先例アリト述ヘラレタル処青島税関員ニ關スル独支取極ハ全部支那税関中ノ独逸國人ヲ採用スルコトアリテ独逸國政府ヨリ推薦スヘキモノニアラズ又團匪事變當時ノ先例ハ總税務司ヨリ便宜適任者数名ヲ採用セシニ止マリ聯合軍側ヨリ推薦セシモノニアラス抑モ税関員採用資格ハ極テ嚴シシテ若シ他國政府ヨリ推薦シ任用方ヲ指定セラルルニ於テハ障害最多キカ故ニ支那政府ニ於テハ同意スルコト難シ但シ日支國交ト青島ノ現狀ニ顧ミ日本政府ヨリ推薦セル人員中税務司ト副税務司ヲ除キ其他全部ヲ總税務司ヨリ税関規則初任辦法ニ照ラシテ採用シ直ニ青島税関ニ在勤セシムルコトトスヘク若シ右ノ辦法ヲ欲セサルモノアル時ハ別ニ他人ヲ推薦シ又同時ニ八名迄推薦セラルルモ可ナリ

一、我今回ノ行為ハ窮迫ノ場合万止ムヲ得サルニ出タル一時の權宜ノ処置ニ過キササルコト

二、税率及ヒ其他ノ取扱振ハ旧來ノ方法ニ準スル方針ナルコト

三、收入税金等ハ当分ノ内全部我ニ於テ保管シ兩國政府ノ協定ヲ待チ從來支那独逸間ニ於ケル方法ニ準シ処分スルコト

四、北京ニ於ケル交渉ノ解決ヲ待チテ速ニ組織ヲ改定スル方針ナルコト

ヲ予メ支那政府ニ通告シ善ク了解セシメ置クノ必要アリト認ム

就テハ御差支ナクハ右取計方日置公使ニ電訓アリタシ船舶ノ出入税関ノ開始ニ關シテハ既ニ軍參謀長ヨリ參謀本部ニ電報セラレタル趣ニツキ右訓電ヲ發セラル、トキハ一応前以テ參謀本部ニ御交渉相成度シ(本電ハ船越參事官ノ發電ナリ)

三七六 十二月十九日 在英國井上大使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関ニ日本人任用問題ニ付英國外務省

「ラングレー」ノ談報告ノ件

第五一七号

往電第五〇四号青島税関官吏問題ニ付「ラングレー」ノ需ニ応シ十二月十九日訪問シタルニ同氏ハ在北京英国代理公使ヨリ初メテ本件ニ付電報ニ接シタリトテ其大要ヲ本使ニ読聞カセタリ右ニ依レハ日本側ノ最後ノ要求ハ支那政府ニ於テ日本側ノ選定シタル日本人ヲ青島税関官吏ニ採用スヘク求メラルルモ応セサルニ於テハ日本ハ同税関ノ撤廃ヲ要求スヘシト云フニアルモ若シ支那政府カ日本ノ要求ニ応セス從テ日本国カ同税関ノ存立ヲ許ササル所トナルニ於テハ支那税関ノ収入ニ尠カラサル影響ヲ及ホスヘク総稅務司ニ於テモ或ハ辭職ヲ申出スルニ至ルヤモ計リ難キ為メ甚タ面倒ナル事態ヲ惹起スル虞アルニ付自ラ在北京日本公使館訪問ノ上其私見トシテ支那ニ体面ヲ保タシムル為此際日本國ニ於テ一步ヲ譲リ現在支那税関ニ在職シ在ル日本人中ヨリ右税関官吏ヲ採用スルコトニ折合フテハ如何トノ意見ヲ開陳シ置キタリトノコトナリ尚「ラングレー」ハ元來支那カ本件ニ付正當ノ措置ヲ執ラス輕率ニ出テタルハ甚タ不都合ト思考スルモ今日支那ノ惡感ヲ買フハ好マシカラサル次第

ナレハ右代理公使ノ意見モ一応尤ト思ハルルカ尚本件ニ付外務大臣ハ來ル月曜日日本使ニ面談セラルヘキ旨ナル旨ヲ語レリ(露都發十二月二十日後一、五五)  
(第八二四号)

三七七 十二月二十日

在中國日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関ニ日本人任用問題ニ付外交次長來訪、

外交部覚書ノ線ニテ妥協方懇請ノ件

第八七三号

十二月十八日曹汝霖本官ヲ來訪シ往電第八七一号覚書ヲ敷衍説明シテ税関長ニハ是非トモ從來支那税関事務ニ從事シ居リタル日本人ヲ充ツルコトニ致シタク支那政府ニテハ立花適任ナリト認ムルモ日本國政府ノ同意ヲ得スシテ任命シタル關係上之ヲ承諾セラレサルニ於テハ相當ノ地位ニ在ル他ノ日本人ヲ以テスルモ可ナリ副稅務司ハ独治時代ニモ置カサリシノミナラス現ニ其必要ヲ認メサルヲ以テ之ヲ設ケサルコトニ致シタク又初任者ハ四等幫辦以上ニ採用スルコト税関例規之ヲ許サ、ルヲ以テ今回日本國ヨリ推薦セラレタルモノ、内経歴等ノ關係上四等タルヲ欲セサルモノハ之ヲ見合セ他ノ適任者ト取換ヘラレタク尚今回八名推薦セラ

レタル処右ニテハ不足ナルヘキヲ以テ別ニ他税関ニ在ル日本人若干名ヲ以テ補足シ之カ為生シタル欠員ハ新ニ日本人ヲ採用補充スヘキニ付之ニ折合ハレタシト述ヘ且日本國ニ於テ飽ク迄其主張ヲ固執セラル、ニ於テハ支那税関ノ「プレスチージ」ヲ毀損シ自然他國側ヨリモ都合好キ要求ヲ提出スルコト、ナリ惡例ヲ將來ニ殘ス虞アルニ付吳々モ讓歩アリタキ旨懇願セリ依テ本使ヨリ曹汝霖ニ對シ惡例云々ト述ヘラル、モ今回ノ事態ハ日独戰爭ノ為メ生シタルモノニシテ斯ル例ハ將來屢々起ルヘキモノニ非ラス又税関ノ例規ヲ云々セラル、モ青島ハ日本ノ軍事占領下ニ在ル独逸國領域ナリ從テ日本國ハ独支間ノ取極ニ拘束セラルルコトナキハ勿論支那税関ノ存在ニ對シ許否權ヲ有スル次第ナルヲ以テ支那側ニテ恰モ税関設置ノ權利アル如ク心得其組織ニ関シテ迄彼是注文ヲナシ剩ヘ英人迄モ割込マシメント試ミタルカ如キハ言語道斷ナリ元來本件カ今日ノ如キ紛糾ヲ見ルニ至リタルハ支那政府ニ於テ帝國政府ノ警告ヲ無視シ突如立花ヲ任命スルカ如キ背信ノ行為ヲ敢テシ毫モ誠意事ヲ共ニスルノ態度ニ出デザリシカ為ニシテ其責一ニ支那政府ニ在リ今更帝國政府ニ於テ何等考慮ノ余地ナカルヘキニ付速

ニ我提議ヲ承諾スルコト可然ト言明シタルニ曹ハ吾々支那当局者ハ最初ヨリ妥協的意嚮ヲ有シ居リタルモ貴公使ヨリ当初警告ヲ与ヘラレタル以前既ニ總稅務司ニ於テ青島税関組織方ヲ内定シ即チ英人タル奉天税関長ヲ正ニ日本人ヲ副トナシ且其他ノ吏員ハ日英各半數トナスコトニ準備シ居リタル為メ今日ノ始末トナリタル次第ナリト洩ラシタルニ付本使ヨリ内部ノ事情如何ハ別問題ニテ要スルニ責任ハ支那政府ニ在ルヲ以テ總稅務司ノ為誤マラレタリトセハ宜シク總稅務司ヲ戒飭スヘシト申聞ケタリ然ルニ曹ハ最後迄只管覺書ノ趣旨ニテ妥協方ヲ懇請シ引取りタリ支那側ニテハ今ヤ「アグレン」ノ強硬ナル態度ニ依リ正ニ板挾ミノ立場ニアルモノト看取セラル(終リ)

三七八 十二月二十日

在中國日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関ニ日本人任用ノ我方要求ノ受諾困難

ナル旨總稅務司「アグレン」來談ノ件

第八七四号

十二月十九日「アグレン」氏來訪立花任命ノ成行及自分ノ所見ハ既ニ再三小幡氏ニ述ヘ置キタル通ナルガ元來青島税

関問題ニ関スル日支兩國間ノ交渉ハ当初自分ニ於テ毫モ承知スル所ナク從テ立花任命ノ如キモ単ニ現税関長「ウキルツェル」ノ独逸国人タル身分ト其ノ病氣ノ為執務困難ナルトニ顧ミ税関事務上臨機ノ措置トシテ自分限り実行シタル迄ナリ又自分ニ於テハ青島税関ニ對スル許否權ガ日本國ノ掌中ニアラズ且ツ独逸國ノ為シタル所ヲ日本國ニ於テ繼承スルハ固ヨリ当然ト思料シ居ルモ唯日本國ノ推薦ニ係ル全然税関事務ニ無經驗ナルモノヲ例規ヲ破リテ採用スル一事ハ過去五十年間ノ努力ニ依リ漸ク確立シタル税関ノ基礎ヲ薄弱ナラシメ九千人ニ達スル各國税関員ノ統御上頗ル困難トスル所ナルニ付其ノ苦衷ヲ帝國政府ニ轉達シテ更ニ考量ヲ求メラレタク尚支那人ハ兎角行違ヲ生シ易キニ付本件ノ善後策ヲ講スル為自分ニ於テ支那側ノ代表者トナリ本使トノ間ニ更メテ商議ヲ開始スルコトト致シタキ旨申述タリ依テ本使ヨリ苦衷轉達ノ儀ハ貴意ニ応スベキモ此際新タニ商議ヲ開クガ如キコトハ最早其ノ余地ナク本使トシテハ政府訓令ノ通我主張ノ貫徹ヲ計ル外ナシト告ゲ尚ホ先刻述ヘラレタル所ニ依レハ立花任命迄青島税関ニ關スル交渉成行承知セストノ事ナルモ支那当局者ヨリ得タル報道ニ依レハ本

存ス(終)

三七九 十二月二十一日

加藤外務大臣ヨリ  
在中国日置公使宛(電報)

青島ニ船舶ノ出入ヲ許シ税関事務ヲ開始スベ

キニ付中国当局及總稅務司ヘ説明方訓令ノ件

第六一九号

物資欠乏ノ為十二月二十八日ヨリ青島ニ日本及關東州ニ船舶籍ヲ有スル船舶及支那「ジャンク」ニ限り其出入ヲ許シ同時ニ税関事務ヲ事實上開始スルコト可相成処貴地ニ於ケル青島税関問題ノ交渉未タ解決ヲ見サル折柄右ハ支那側ヲシテ我ニ於テ一種ノ自由行動ヲ執ルモノノ如ク誤解セシムルノ虞モアル次第ニ付為念貴官ハ支那当局竝總稅務司側ニ對シ

(一)前記ノ措置ハ窮迫ノ場合方已ムヲ得サルニ出テタル一時の權宜ノ手段ニ過キサルコト

(二)稅率及及他ノ取扱振ハ大体從來ノ方法ニ準スル方針ナルコト

(三)税関收入等ハ当分ノ内全部我ニ於テ保管シ兩國政府ノ協定ヲ待チ從來独支間ニ於ケル方法ニ準シ処分スル方針ナ

使ヨリ最初支那側ニ交渉談前既ニ貴下ヨリ英國人タル奉天稅務司ヲ正ニ日本人ヲ副ニ其他ハ日英各半数トナスコトノ案ヲ擬定シ支那当局ニ申出デラレタリトノ事ナルカ支那側ノ報道素ヨリ悉ク信賴スルニハ足ラサルモ果シテ右ノ如キ事實アリトセハ貴下ノ所言矛盾ニアラスヤ又立花ノ任命ハ臨機ノ措置トシテ貴下限りニテ取計ハレタリトノ事ナルモ支那政府ハ當時早速右ノ次第ヲ公文ヲ以テ帝國政府ニ通知シ置ケルニアラスヤト切込ミタルニ彼ハ頗ル狼狽ノ態ニテ前段ニ關シ徹頭徹尾右ハ當時稅務処督辦梁士詒ヨリ英人正、日本人副案ヲ立ツヘシトノ注文アリタルニ對シ答申シタル迄ニテ自カラ別箇問題ナリ又後段ハ支那政府ノ勝手ニ為シタル事ニテ何等右通知方等ニ付相談ヲ受ケタル次第ニアラスト弁解セリ

当日ハ長時間ニ亘リ種々論議ヲ重ネタルカ本使ノ得タル印象ニ依レハ「アグレン」ハ痛ク苦悶シ居リ且ツ往電第八七一號ノ覺書ヲ以テ提出シタル支那政府ノ對案ハ「アグレン」ニ關スル限り最終讓歩タルモノ、如ク思料セラルスル上ハ英國政府ノ威力ヲ以テ我提議ニ同意スル様「アグレン」ヲ屈服セシムルコト我主張ノ貫徹ニ必要ナルヘキカト

ルコト

ヲ予メ通告シ善ク事態ヲ了解セシメ置カレタシ

三八〇 十二月二十一日

加藤外務大臣ヨリ  
在中国日置公使宛(電報)

青島税関ニ日本人任命問題解決ノ為ノ交渉方

針訓令ノ件

第六二〇号

貴電第八七三号及同第八七四号ニ關シ貴官カ曹汝霖及「アグレン」ト応答セラレタル趣旨ハ甚宜シキヲ得タルモノニシテ本大臣ノ満足スル所ナリ御承知ノ通我方ニテ立花ノ任命ニ異議ヲ唱フルハ同人ノ人物技倆等ニ對スルモノニ非スシテ支那カ大連及青島ノ税関取極ヲ無視シ恣ニ同人ヲ青島ニ転セシメタル点ニアリ実ハ都督府側ノ意見ニヨルモ同人ハ大連ニ於テ極メテ有用ノ人物ナレハ之ヲ転任セシムルコトハ好マシカラサルノミナラス又實際ノ事情ヨリ云フモ青島ニ転任ノ後立花カ大體大藏省系統ノミノ部下ヲ率イ且周囲ハ軍人ノミノ間ニ立チ工合ヨク調和シテ事務ヲ運ヒ行キ得ルヤ否ヤ此点本大臣ノ最モ懸念スル所ニシテ若シ之レカ為ニ税関事務ノ円満ナル運行ニ妨ケアルカ如キコトアラハ

支那ノ為ニモ極メテ不利益ナルハ申ス迄モナキニ付何処迄モ我申出ニ對シ支那政府ニ於テ承諾スルコトヲ希望スルモ此等ノ事情ヲ顧ミズ同政府ニ於テタツテ立花ヲ適任ト認メ是非共同人ヲ青島ニ移サシコトヲ切望スルニ於テハ帝國政府ニ於テモ問題ノ解決ヲ図ルガ為メニ枉ケテ好意的考量ヲ加ヘサルニ非ス尤モ愈々立花カ青島税務司タルコトヲ我方ニ於テ承諾スルコト、ナル場合ト雖(一)副税務司ハ支那側希望ニ從ヒ暫ク欠員トスルモ可ナルモ其他ハ是非共今般我方ヨリ推薦セル人物ヲ我方申入レ通リノ地位ニ入レ其外北京トノ聯絡ヲ保ツカ為ニ從來支那税関在勤ノ本邦人若干名ヲ加ヘ青島税関内勤員ニ充テ又外勤員ニ付テモ往電第六〇九号ヲ以テ申進シタル通りノ候補者ヲ採用スルコト、シ(二)又立花其他現在支那税関在勤中ノ本邦人ヲ青島ニ移シタル為生シタル欠員ハ同一税関又ハ他税関ニ於テ同位又ハ次位ニアル本邦人ヲ以テ之ヲ補ヒ其為生シタル欠員ハ又順次同様ニ現在支那税関在勤ノ本邦人ヲ以テ之ヲ補ヒ結局生シタル最下級ノ空位ニハ本邦人ヲ新ニ入ル、コト絶対ノ要件ナリ(右(二)ハ税関ノ相当高位ニハ中途他ヨリ新人物ヲ入ルルヲ得ストノ支那側ノ意見ヲ尊重シタル便法ナリ)尚青島税

ル高位ヲ他國人ニ譲リ之カ代償トシテ僅ニ下級税関吏ノ地位ヲ占ムル結果トナリ員數ニ於テハ増加ス可キモ地位ノ上ヨリ見レハ却テ現今以下ニ陥リ極メテ不条理ノ措置ト思考ス右貴官御參考迄為念申添ユ尚又貴電第八七四号「アグレン」申出ノ通り此際同人トノ間ニ更メテ商議ヲ開クカ如キハ帝國政府ニ於テ承諾シ難シ又同電末段御申越ノ次第アルモ「アグレン」ノ背後ニハ英國公使其他英國側ノ勢力伏在スルコト勿論ナルヲ以テ帝國政府ヨリ事態ノ真相ヲ英國政府ニ説明シ置クコトニハ可取計モ同政府ヲ通シ「アグレン」ヲ庄服スルコトハ望ナシト思考ス將又十二月十八日附外交部覚書中ニ独支取極ニハ支那税関中ノ独逸國人ヲ採用スルコト、成リ居ルヤニ記載シアルモ右ハ誤ニテ同取極(第二条)ニハ単ニ独逸國人タルヘキ旨規定シアリテ必スシモ支那税関員タルヲ要セス又団匪事件當時ノコトモ天津軍政署ニテ税関事務ニ當リ居タルモノヲ軍政事務引渡ノ際全部支那海關ニ雇用シ後正式ニ海關員ニ任命シタルモノニテ決シテ外交部覚書ニ言フ如ク総税務司ヨリ便宜適任者數名ヲ採用セシニアラス御含迄申添ユ

関下級吏員ニ支那人ヲ採用スルコトハ差支ナシトシテ本邦人以外ノモノハ絶対ニ同税関ニ入レサルコト、スルハ勿論ノ次第ナリ又前記十二月十八日付外交部覚書末段ニ一切ノ辦法ハ独支間從來ノ取極ヲ援照スヘシトアルモ右ハ独支間取極一切ノ写ヲ当方ニ貰受ケタル上可否ヲ言明スヘキ筋合ニ付右様御承知アリ度シ然レトモ立花ノ任命ハ前記ノ如キ困難ト不利益トヲ伴フヲ以テ帝國政府ニ於テハ矢張り成ルヘク当初申入レ通リノ我要求ヲ支那政府ニ於テ其儘実行セシコト希望ニ堪ヘサル次第ニ付右様御含ノ上以上ノ趣旨ヲ以テ重ネテ交渉方可然御措置アリ度シ尚貴電第八四四号ノ四同第八四八号ノ二支那側ノ對案ニ拠レハ立花ヲ青島税務司ニ任命シ其下ニ現ニ支那税関ニ勤務セル本邦人ヲ集メテ税関ヲ組織スルニ在ルカ如シト雖現在支那税関在勤ノ本邦人ハ其數極メテ少キノミナラス右ニ依リテ欠員ヲ生シタル青島以外ノ税関ノ同一地位ニ新ニ本邦人ヲ採用任命スルトスレハ支那側今回ノ反對ヲ半ハ無意義ナラシムルモノナルヲ以テ支那側ノ意ハ矢張り右補欠ハ最下級ノ地位ニ年少者ヲ採用スルニ過キサルモノナルヘク斯クテハ青島税関以外ニ於テハ從來本邦人カ多年ノ勉強苦心ニ依リ漸ク占メ来レ

三八一 十二月二十一日

加藤外務大臣ヨリ  
在中国日置公使宛(電報)

青島税関押収ハ何等不当ニ非ザル旨竝日本人  
任用問題ノ早急解決ハ中国側ニ取り得策ナ  
ル旨先方ニ説示方ノ件

第六二一号

貴電第八六四号ニ関シ

(記駐外領)

十二月一日青島守備軍司令官ヨリ軍ノ必要ニ依リ海關ヲ押収スル旨通告シ其後右押収ヲ実行シタルハ事實ナル模様ナルモ青島ハ戰鬭ノ結果占領サレタル土地ナル以上其結果施行セラレ居ル軍政中軍ノ必要ニ依リテハ仮令中立国官民所有ノ財産ト雖押収使用等ヲ免レサルハ当然ノ事態ニ属スルノミナラス青島税関カ從來全然独逸權勢ノ下ニアリタル事實ニ顧ミレハ守備軍司令官ノ措置ハ何等不当ノ廉ナシ貴電第八七三号御来示ノ通り元來占領地ニ於テハ何等他國ノauthorityヲ認メサル義ナルニ付少クトモ平和克復ニ至ル迄ハ純然タル理論ヨリ云ヘハ青島ノ支那税関ナルモノノ設置ハ全然我方ニ於テ之ヲ認メス且事實上之ヲ我方ノ占有ノ下ニ置クモ少シモ差支ナシ去往電第六〇〇号中ニ申進シ

タル通り我方ニテハ支那側ノ都合ヲモ慮リ且税関ノ國際的性質ニ鑑ミ成ルヘク速ニ青島税関ヲ支那政府ニ引渡スコトニ決定シ右ノ方針ニ基キ税関員等ニ付必要ナル交渉ヲ開始シタルニ支那側ニ於テ執拗ニ我申入ニ難癖ヲ付ケ居ル為折角ノ引渡ヲ実行シ得サル次第ナリ從テ支那側ニ於テモ此際大局ニ鑑ミ速ニ我方ト話合ヲ纏ムルコト最得策ナリトス左スレバ税関ノ引渡ハ何等困難ナクシテ実行セラル、運ト成ルヘシ右ハ申ス迄モナキ次第ナカラ此上共貴官ヨリ「アグレン」及其他ノ支那当局ニ我方立場ヲ説示スル必要可有之ニ付特ニ申進ス

(欄外註記)

「此点(押収実行)參謀本部本庄少佐ニ確メタルモ Gate へ同部ニテモ不明ノ由ナリ」

三八二 十二月二十二日

在英國井上大使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関ニ日本人任命問題ニ関シ英外相ト会

談ノ件

第五一八号

往電第五一七号ニ関シ十二月二十一日「グレー」氏ニ面会

ミ延テ各国トノ間ニ紛議ヲ誘致スルニ至ランヲ虞ルト附言セラレタルニ付本使ハ今回ノ事件ハ畢竟税関長任命問題ニ外ナラス本件ニ関スル支那側ノ遣リ口ハ曩ニ本使ノ説明シタル通関係条約ノ規定ヲ無視シタル專斷ノ措置ニシテ我方ノ趣意ハ素ヨリ独逸國ノ地位ヲ踏襲セントスルニ過キス右ノ基礎ニテ税関長以下ノ職員任命アリタル後可成速ニ該税関ヲ支那ニ引渡ス考ニ有之永久的ニ之ヲ管理スルガ如キハ毛頭我方ノ意思ニ存セサルコトハ本使ノ斷言ニ躊躇セサル所ナリト述ヘタルニ「グレー」氏ハ本使ノ説明ニ依リ日本國ノ意思モ好ク了解セリ大ニ安心スル所ナル旨答ヘラレタリ(終)

三八三 十二月二十二日

加藤外務大臣ヨリ  
在英國井上大使宛(電報)

青島税関ニ日本人任命問題ニ関シ我方ノ立場

ヲ英國当局ニ篤ト説明方訓令ノ件

第三五九号

貴電第五一七号在支英國代理公使ノ電報ニ依レハ支那側ニ於テ我方選定ノ通青島税関員ヲ採用セサルトキハ我ハ同税関ノ撤廃ヲ要求スルモノナルカ如ク解セラル、処右ハ全然

シタルニ同氏ハ青島税関問題ニ付日支兩國間ニ紛議ノ起レルコトヲ承知シタルカ本問題ニ付日本國ノ主張ハ曩ニ「ラングレー」ニ対スル貴大使ノ來談ニ依リ之ヲ了承セリ即チ日本國ノ欲スル所ハ從來独逸國ノ享有シ居タル地位ヲ繼承スルニアリト了解シ居ル次第ナルカ青島攻撃ニハ小部隊ノ英國軍モ參加シタル行懸ニ鑑ミ支那側ニ於テ或ハ本問題ニ付英國政府ヘモ訴ヘ來ルヤモ計リ難ク恐クハ日本國ハ該税関ヲ永久ニ管理セントスル考ナリトカ或ハ日本國ハ独逸國以上ノ特權ヲ獲得セントスルモノナリトカ例ノ支那流ノ筆法ニテ日本國ノ非ヲ鳴ラスコトナルベキガ其辺ハ自分ノ応答振ハ成ルヘク日本國ノ意志ト齟齬スル所ナキ様致シタシトノ考ニテ茲ニ御來訪ヲ煩ハシタル次第ナリト云ヒ自分ニ於テハ支那側ヨリ若シ右様ノ申出ニ接シタルトキハ青島ハ現ニ軍政ノ下ニアリ平時ノ場合トハ同一ニ律スヘカラス從テ日本國ノ提議ハ強チ無理ナラスト思考ストノ主意ヲ答ヘ置ク積ナルガ茲ニ聊カ懸念ニ堪ヘサルハ万一日本國ニシテ青島税関ノ撤退ヲ強要シ若クハ永久的ニ之ヲ管理スルガ如キコトアランニハ支那側ノ税関收入ハ各國債權ノ担保トナリ居リ從テ之ガ收入ノ減損ハ債權者ノ損失トナル事實ニ鑑

誤解ニシテ仮リニ本件行詰マルカ如キコトアリトスルモ我ニ於テハ往電第三四一号ノ通り占領地ノ整理付キ次第成ルヘク速ニ青島ノ通商ヲ開クト共ニ税関事務ヲ開始シ收入ハ之ヲ保管シ置キ本件解決ヲ俟ツテ支那側ヘ引渡ス心組ナルヲ以テ税関收入ニ影響云々モ亦自然杞憂ニ過キサルコト明白ナルヘク將又現在支那税関ニ在職セル本邦人中ヨリ青島税関員ヲ採用スル方法ハ一見妙案ナルカ如シト雖現ニ支那税関ニ在ル本邦人ハ其數極メテ尠キノミナラス支那側ノ意ハ右ニ依リテ欠員ヲ生シタル青島以外ノ税関ノ同一地位ニ新ニ本邦人ヲ採用スルニ非スシテ最下級ノ地位ニ年少者ヲ採用スルニ過キサルモノト認メラレ斯克テハ青島税関以外ニ於テハ本邦人カ多年ノ勉勵苦心ノ結果漸ク占メ得タル高位地位ヲ他國人ニ譲リ之カ代償トシテ僅ニ下級税関吏ノ地位ヲ得ルニ過キサルコト、ナリ員數ニ於テコソ増加スヘキモ地位ノ上ヨリ見レハ却テ現今以下ニ陥リ極メテ不条理ナル方法ト思考セラレ承服致シ難キ所ナルヲ以テ是等ノ諸点ニ付篤ト英國當局ノ誤解ヲ訂シ置カル、様致度尚總稅務司「アグレン」「モリソン」及在支英國公使館側等ニ於テハ青島税関ニ我方ヨリ選定推薦セル本邦人ヲ任命スルハ独逸

時代ノ慣例ニ反シ且将来之ヲ例トシテ他国側ヨリ勝手ナル要求ヲ為スニ至ル虞アリト主張シ我要求ヲ非難スル議論モアル趣ナレハ彼等ノ意見自然貴地当局ニ通スルコトナキヲ保シ難シト存セラル、処元來青島ハ我戦時占領地ニシテ其性質上占領軍以外他国ノ authorityヲ認ムルヲ得サル筋合ナルニ付純然タル理論ヨリ云へハ平和克復迄ハ青島ニ於ケル支那税関ノ存在ヲ認ムルニ及ハサル次第ナレトモ我ニ於テ支那税関ノ特殊國際的性質ヲ有スルニ鑑ミ且支那政府ノ体面ヲ顧慮シ大体独支取極ノ趣旨ヲ認メ我方ヨリ進テ引渡ヲ為サントスルモノナレハ平時ノ常態タル独逸時代ノ慣例ト多少異ナル点アルモ已ムヲ得サル所ナリ從テ支那側ニ於テ独支協定ヲ無視シ如上特殊ノ事態ヲ顧ミス我意向ニ拘ラス同税関員ノ任命ヲ行ハントスルカ如キコトアラハ是レ事實上我軍政組織ノ根本ヲ破壊スルモノニシテ我ニ於テ到底忍フ能ハサル所ニ属ス又将来ニ惡例ヲ貽スト云フモ今回ノ青島攻撃ノ如キ事例ハ極メテ稀有ナル出来事ナルヘク殊ニ團匪事件ノ際ニハ天津軍政署ニテ税関事務ニ当リ居リタル各国人（内本邦人数名アリ）ヲ軍政事務引渡ノ際全部支那海關ニ雇用シ後比較的高地位ノ海關員ニ正式任命シタル実

ケハ我對支貿易ハ英國並ニ英領印度其他各殖民地全部ノ合計額ヨリモ遙ニ優越ナルハ千九百十三年支那税関 Returns of Trade Part I 四十四頁以下ニ抛リ明白ナル事實ナリトス此現勢ニ比スレハ目下支那税関ニ於ケル本邦人ノ数ハ極メテ微々タルモノナルニ付其内右増員方支那政府ヘ申入レ度トマデ考慮シ居ル矢先「アグレン」ニシテ右様ノ考ヲ有シ居ルニ於テハ我方ノ迷惑勘カラサルハ勿論今後トテモ支那税関問題ニ関シ紛紜ノ絶ユルコトナカルヘキヤノ虞モアリ懸念ニ堪ヘサルニ付英國政府ヨリ適當ノ機會ニ於テ「ジヨルダン」公使ニ對シ日本ノ立場ヲ諒シ日支ノ親交ヲ助長スルノ目的ヲ以テ「アグレン」ヲ説得スルヤウ可然電訓ヲ發セラル、コトヲ得バ望外ノ仕合ハセナルヘキ旨英國当局ニ申入レラルヘシ

右参考ノ為在米大使ヘ転電アリタシ

三八四 十二月二十三日 在中国日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛

神尾青島守備軍司令官ノ青島税関押収ニ對ス

ル外交部抗議書ヲ送付ノ件

附屬書 十二月十七日附係外交總長ヨリ日置公使宛抗議

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三八四

例モアル次第ニ付此点モ適當ノ機會ニ於テ併テ可然敷衍説明シ置カレ度シ尤モ本件ハ其後引続キ支那側ニ對シ事態ノ説得ニ努メ居リ其結果現ニ十二月十八日外交部ヨリ青島ノ現狀ニ顧ミ税務司副税務司以外ニ付テハ帝國政府推薦ノ候補者任命方何トカ便法ヲ講スヘキ意味合ヲ申越タルニ付或ハ遠カラス交渉纏マルニ至ルヤモ図ラレス御含迄申添ユ尚「アグレン」ハ日置公使ニ對シ当初本件ニ関スル日支兩國間ノ交渉ヲ承知セサリシヲ以テ自限リノ措置トシテ臨機立花ヲ任命シタル迄ナル旨ヲ弁明シタルニ付同公使ハ本件ニ関シ日支交渉開始前「アグレン」ヨリ支那当局ニ對シ英人タル奉天税務司ヲ正トシ本邦人ヲ副トシ其他ハ日英各半數ヲ以テ青島税関ヲ組織スル案ヲ提出シタル趣曹外交次長ガ同公使ニ語リタル事實並ニ立花任命ト同時ニ其旨支那政府ヨリ公文ヲ以テ帝國政府ニ通知シ來レル事實等ヲ指摘シタルニ「アグレン」ハ頗ル狼狽シ牽強附會ノ弁解ヲ試ミタル趣ナルカ同人ハ本件ニ関シ当初ヨリ謬見ヲ有シ居ルモノノ如ク右日英人併用案ノ如キモ同人ノ發案ニ相違ナカルヘシト信セラル或ハ同人ハ我對支貿易輓近ノ發展ニ心付カサルヤモ図ラレサレドモ現ニ昨年度ノ如キ仲繼港タル香港ヲ除

覚書ヲ

機密第五三七号

(十二月三十一日接受)

大正三年十二月二十三日

在支那

特命全權公使 日 置 益(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ関シ外交部ヨリ覚書ヲ送越タル次第ハ往電第八七〇号ヲ以テ申進置候処右覚書寫茲ニ郵送供貴覽候也

(附屬書)

十二月十七日附係外交總長ヨリ日置公使宛抗議

議覺書寫

節略

據總稅務司函據膠關稅司威利士函稱本月一日接青島守備軍司令官神尾光臣通告日本青島守備軍司令官因軍事上之必要收管膠州海關特此通告等語旋於六日日本軍官承總司令神尾光臣命佔據膠海關強收卷宗款項及一切產業與海關小輪等因查青島海關完全爲中國政府產業無論用何名義不應稍加侵害此次日軍司令強行押收關產及卷宗款項實屬侵害中立國家產業除電達陸公使向

貴國政府抗議外應請

貴公使査照迅電

貴政府速飭該總司令取消通告迅予交還以俟解決海關組織問題爲盼

孫寶琦

十二月十七日

(右和訳文)(註 日本外務省作成)

覚書

総税務司ヨリ転申シタル膠州税関税務司威利士ノ書翰ニ拠ルニ本月一日日本青島守備軍司令官ハ軍事上ノ必要ニ因テ膠州税関ヲ接收管理スルニ付キ特ニ通告ストノ旨青島守備軍司令官神尾光臣ノ通告ニ接シタルカ去六日ニ於テ日本武官ハ總司令官神尾光臣ノ命ヲ承テ膠州税関ヲ占拠シ書類金員及一切ノ財産並ニ税関ノ小汽艇ヲ強収シタリ等ノ趣キ按スルニ青島税関ハ完全ナル中国政府ノ財産ニシテ如何ナル名義ヲ用ルニ論ナク少シモ侵害ヲ加フヘカラス此度日軍司令官カ税関財産及書類金員ノ押収ヲ強行シタルコトハ実ニ中立国財産ノ侵害ニ属セリ依テ陸公使ニ打電シテ貴国政府ニ抗議セシメ置キタルカ尚ホ貴公使ヨリ至急貴国政府ニ電

本月十四日

小幡臨時代理公使面交

日本政府推薦青島税関人員八名請中政府任用並引庚子年天津各國聯軍交還税関時仍用聯軍所派之關員爲先例査中德所約關於青島税関人員辦法祇有全用在關員内之德國人並非由德政府推薦即庚子天津税関交還時亦由總税務司酌留辦事得力人員數名充補關員亦非由聯軍方面推薦海關用人資格甚嚴若用他國政府推薦指用窒碍殊多中國政府實難同意惟爲顧念中日邦交及審察青島目下情形擬將日本政府推薦人員除税務司副税務司外全部由總税務司按照關章初任辦法任用即派在青島税関辦事如有不願就者可另推薦他人或仍薦足八人之數亦可副税務司一缺不派仍請同意久任大連税務司之日本人立花政樹爲税務司至其他一切關内辦法可援照中德向來辦法辦理

註 右外交部ノ回答覚書ハ十二月十八日在中国日本公使館ニ送付越サレタリ

(右和訳文)(註 日本外務省作成)

覚書

本月十四日小幡臨時代理公使手交ノ覚書ニ於テ日本政府ハ

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三八五

告シ速ニ該總司令官ニ命令シテ通告ヲ取消シ至急之ヲ還附セシメ以テ税関組織問題ノ解決ヲ俟タレンコトヲ希望ス

三八五 十二月二十三日

在中国日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛

青島税関ニ日本人任用問題ニ関スル外交部覚

書送付ノ件

附屬書

十二月十四日小幡臨時代理公使手交ノ覚書ニ對スル外交部ノ回答覚書写

機密第五三八号

(十二月三十一日接受)

大正三年十二月二十三日

在支那

特命全權公使

日

益(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

曩ニ往電第八七一号ヲ以テ及報告置タル本件覚書写茲ニ及送付候条御査閱相成度候也

(附屬書)

十二月十四日小幡臨時代理公使手交ノ覚書ニ

對スル外交部ノ回答覚書寫

節略

青島税関員八名ヲ推薦シテ中国政府ニ任用ヲ請求シ並ニ庚子ノ年ニ天津ノ各國聯合軍カ税関ヲ還附シタル時ニ仍ホ聯合軍ノ任命セル税関員ヲ用ヒタルコトヲ引証シテ先例トナセリ按スルニ中独間ニ約定シタル青島税関員ニ関スル取扱法ハ税関在勤員中ノ独国人ヲ全部用ルノミニシテ決シテ独逸政府ヨリ推薦シタルニ非ス即チ庚子ノ年ニ天津税関還附ノ時モ亦タ総税務司ヨリ事務取扱上ニ能力アリタル人員數名ヲ留任セシメテ関員ニ補充シタルモノニシテ亦タ聯合軍方面ヨリ推薦シタルニアラス税関ノ任用資格ハ甚タ嚴ニシテ若シ他國政府ノ推薦ヲ用テ指名任用スルコトトセハ故障甚タ多シ中國政府ハ実ニ同意ヲナシ難シ但シ中日ノ邦交ヲ顧念シ並ニ青島目下ノ情況ヲ審察シ日本政府ノ推薦人員ニ對シテハ税務司副税務司ヲ除クノ外ハ全部總税務司ヨリ税関章程ノ初任取扱法ニ照シテ之ヲ任用シ直チニ青島税関ニ於テ事務ヲ取扱ハシメント欲ス若シ就任ヲ望マサルモノアレハ別ニ他人ヲ推薦スヘシ或ハ仍ホ八名ノ定員ニ達スルマテ推薦セラル、モ亦タ可ナリ亦タ副税務司ノ職ハ任命セサルコトハ仍ホ御同意ヲ請フ久ク大連税務司ニ任シタル日本人立花政樹ハ税務司ニ任命スヘク其他一切ノ税関内ノ取扱

法ニ至テハ中独間從來ノ取扱法ニ援照シテ取扱フヘシ

三八六 十二月二十四日 在中国日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関ニ日本人任用問題ノ紛糾ニ対処スベ

キ方策ニ付具申及請訓ノ件

第八八一号

貴電第六二〇号ニ関シ帝國政府ニ於テハ青島税関問題ノ曲折ニ顧ミ結局立花税関長任命ヲ承諾セラル、御内意ナル趣ノ処更ニ副税関長以下ノ吏員及他税関ニ於ケル本邦人補充方ニ付御方針御訓示相成タル処右帝國政府ノ譲歩ハ卑見ヲ以テセハ未タ以テ問題ヲ解決スルニ足ラサルモノト史料ス即チ(一)副税関長以下ノ我方推薦者ヲ我申入ノ通ノ地位ニ入ルヘシトノ主張ハ支那側ノ対案タル初任ノ辦法ニ依リ採用スヘシトノ所謂例規ヲ楯ニ取りテノ主張ト合致スル見込ナシ(二)立花其他現在支那税関吏タル本邦人ヲ青島ニ移シタル結果生スヘキ欠員ハ同又ハ次位ニ在ル本邦人ヲ以テ順次ニ補充スヘシトノ主張ハ結局未タ昇給年限ニ達セサル日本人ヲモ補充上必要ナル場合ニハ昇給セシムヘシト主張スル筋合ナルヲ以テ青島以外ノ税関ニ対シテ迄モスル權宜ノ取計

ヲ為スコトハ総稅務司ニ於テ一層困難トスル所ナルヘシ(三)我主張ハ独治時代ト同様税関内外勤務者合計四十余名ヲ採用セシメントスルモノナル処独治時代即チ青島貿易ノ盛ンナリシ時代ニハ前記ノ如ク多数ノ人員ヲ要シタリシナランモ今回戦争ノ結果青島貿易著シク打撃ヲ受ケ出入船舶貨物数モ減スヘキヲ以テ必ズシモ戦争前ト同数ノ税関員ヲ配置スルノ必要ナルヘク今ヤ支那税関收入著シク減シ塩稅收入ヨリ多数補充ヲ(不明) 匪事件賠償金仕払ヲナシ能ハサル際斯ク多数ノ吏員ヲ置クコトハ事情許サ、ルヘク又之レヲ強フル口実モナカルヘシ(四)支那側覺書中特殊取極ニ税関ニ在ル独逸國人ヲ採用ストアリ云々ハ貴電ノ通り支那側ノ誤リニ相違ナキモ独治時代ニハ常ニ税関ニ在ル独逸國人ヲ任命シ来リタル実例アルヲ以テ(往電第八五二号)(参照)理論ハ兎モ角此ノ事實ハ相当考量ニ容レサルヲ得ス又天津軍政署時代ノ先例モ總稅務司ハ之ヲ以テ惡例トナシ將來斯カル事態現出ヲ防カント努メ居ル趣ヲ言明セシ次第アルヲ以テ此ノ例ノミヲ援用スルコトモ我主張貫徹上左迄効果ナカルヘシ以上四点ノ内(三)(四)ハ兎モ角(一)(二)ニ準ケタル我主張ハ支那側殊ニ「アグレン」ニ於テ到底同意セサルヘク「ア

グレン」ノ如キハ自己ノ税関吏員任命權ヲ固執シ英國其他諸國ノ德義の後援ヲ以テ飽迄其立場ヲ擁護セントシ既ニ税

関吏全部日本人ニテ組織スルコトニハ同意シナカラ其採用ニ関シテハ税関例規ヲ楯ニ取り一步モ譲ラサルノ決心ヲ為シ万已ムヲ得サル場合ニハ其地位ヲモ賭スル覺悟ナルヤノ說アルヲ以テ御来示ノ如キ方法ヲ以テシテハ断シテ妥協ノ見込ナシト確信ス去リナカラ本問題ハ不幸ニシテ今日ノ紛糾ヲ来シ内外ノ注意ヲ喚起スルニ至リタルノミナラス部分的讓歩ニテハ到底協調ノ見込ナキニ付此上ハ飽迄強硬ノ態度ヲ執リ支那側ニ対シテハ今回ノ事態ハ全然例外問題ナルヲ以テ税関例規乃至ハ独逸トノ取極ノミニ抛ルヘキ限ニアラサルコトヲ標榜シテ速ニ我当初ノ主張ヲ承諾スル様嚴重交渉シ先方ニ於テ応セサレハ膠州灣問題最後決定ヲ見ルニ至ル迄貴電第六一九号辦法ヲ繼續スルノ決心ヲ以テ進ム外ナシト史料ス但シ我軍ニテ押収シタル税関書類及金錢ハ成ルヘク速ニ引渡スコト穩当ナルヘク又前記辦法施行ノ上ハ申迄モナキ義ナカラ我税関吏ニ於テ極メテ公正嚴格ナル態度ニ出ツルコト緊要ト史料ス前記方案ニ付御詮議ノ上何分ノ義御電訓ヲ請フ(終リ)

三八七 十二月二十五日

在英國井上大使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関ニ日本人任用問題ニ関スル我方ノ立

場ヲ英外務省「ラングレイ」ニ説明ノ件

第五二七号

十二月廿四日「ラングレイ」ニ面会貴電第三五九号御訓示ノ趣篤ト説明シタルニ同氏ハ右ニテ日本國ノ地位ハ一層明瞭ニ了解セリト述ヘ本使談話ノ次第ハ在支那英國公使ノ心得迄ニ早速電報シ置クヘシト附言シタリ往電第五一八号「グレイ」氏会谈ノ要領モ既ニ同公使ヘ電報済ナリト云ヘリ尚ホ「アグレン」ノ態度ニ関シ「ラングレイ」ハ北京公使館ノ報告ニ依レハ「アグレン」ハ何故カ平常公使館ニ出入セス今回ノ事モ最初ヨリ何等公使館ヘ相談シタル事ナク事態面倒トナリタル後 Macleay ノ往訪ニヨリ漸ク本件カ両者ノ談ニ上リタル位ニテ若シ同人ニシテ初メヨリ公使館ヘ接触シ居リタランニハ今回ノ如キ難局ニモ立チ至ラサリシナルヘク旁以テ我方希望ノ如ク Jordan 公使ヲシテ此際相当ノ Hint ヲ同人ニ与ヘシムル事トスヘシト語レリ

三八八 十二月二十五日 加藤外務大臣ヨリ  
在中国日置公使宛(電報)

青島税関ニ日本人任命問題ニ関スル請訓ニ対

シ回訓ノ件

第六三一号

貴電第八八一号ニ関シ

帝國政府ニ於テハ往電第六一九号ノ通十二月廿八日ヨリ事  
實上青島ノ税関事務ヲ開始スル筈ニテ此際往電第六二〇号  
ノ通問題ノ急速解決ヲ図ルカ為枉ケテ支那側ノ申出ニ対シ  
好意の考量ヲ加フルコトナスヘキ旨申進シタル次第ナル  
ニ付往電第六一九号及同第六二〇号ノ趣直チニ支那当局ニ  
申入レ我方申出ノ趣旨ニヨリ至急話ヲ纏ムル様精々御尽力  
相成度シ

三八九 十二月二十七日 在中国日置公使ヨリ  
加藤外務大臣宛(電報)

青島税関事務十二月二十八日ヨリ事實上開始

及日本人職員任命問題ニ関シ書外交次長ヘ申

入ノ件

第八八六号 至急

貴電第六三一号ニ関シ貴電ノ件ハ既ニ十二月二十四日本使  
曹汝霖ニ面会ノ上篤ト説明ノ上通告ヲナシタルニ其際曹汝  
霖ハ税関問題ノ纏マル迄実行見合方ヲ懇請シタルヲ以テ本  
使ヨリ右ハ支那側ニ於テ其態度ヲ改メサル限り容易ニ纏マ  
ルヘキ見込ナシト認メラルル処我方ニ於テハ實際物資供給  
上必要ニ迫ラレ実行セントスル次第ニ付之ヲ見合スコト絶  
對ニ不可能ナリト答ヘ引取リタルカ十二月二十五日曹汝霖  
ハ小幡ヲ来訪シ日本国ノ執ラントスル措置ハ所謂自由行動  
ニシテ寔ニ不都合ナリト不平ヲ洩ラシタル趣ナリ將又貴電  
第六二〇号ノ件ニ就テハ十二月二十六日曹汝霖ヲ往訪シ先  
ツ青島税関問題今日ノ紛糾ヲ見ルニ至リタルハ支那側ノ不  
誠實ニ基ク次第ヲ指摘シテ其責任支那側ニアルコトヲ認メ  
シメタル上御電訓ノ趣旨ヲ篤ト説明シ尚万一ノ誤解ヲ避ク  
ル為用意シ置キタル我条件ノ覺書ヲ手交シテ右ハ最終の讓  
歩ナルヲ以テ速ニ同意可然ト説得シタル処曹ハ総税務司ト  
熟議ノ上ナラテハ全部ニ互リ何等回答ヲ為シ得サルモ外勤  
員三十七名ヲ日本国ノ推薦ニ依リ採用スルコトハ海関ニ於  
テ非常ニ苦痛トスル所ナルヘキヲ以テ此ノ形式丈ハ是非共  
避クルコトニ同意アリタシト再三陳弁セリ依テ本使ヨリ帝

(附屬書)

青島守備軍司令官ヘ達

- 一、青島港ニ於テ埠頭業務ヲ開始スヘシ
- 二、埠頭業務ニ伴フ收入ハ軍資金ノ收入トシ經費ハ臨時軍  
事費ノ支弁トシ收入ヲ以テ支出ニ充ツルコトヲ許サス
- 三、青島ニ支那税関ノ設置セラルル迄緊急欠クヘカラサル  
税関ノ業務ハ埠頭業務官吏ヲシテ之ヲ処理セシムヘシ
- 四、関税ノ徴収及整理等ニ関シテハ左ノ如ク処理スヘシ

(一)課税及手数料竝之ニ基キ我政府ノ所得トスヘキ收入  
等ハ総テ旧例ニ拠リ徴収スルコト

(二)徴税費、俸給諸給其他税関維持ノ為要スル一切ノ経  
費ハ臨時軍事費ノ支弁トス但シ該經費ハ常ニ明瞭ニ  
区分整理シ置クコト

(三)関税一切ノ收入ハ其ノ儘保管シ歳入歳出外現金ノ取  
扱ヲ為スヘシ但シ其ノ計算ハ軍政ニ伴フ收入ト区分  
シ常ニ確實ニ整理シ何時ニテモ引継ニ遺憾ナカラシ  
ムルコト

五、埠頭業務及税関業務ノ為増加スヘキ人員ハ別ニ之ヲ定

國政府今回ノ讓歩ハ頗ル顯著ナルモノニテ一ニ支那政府ニ  
好意ヲ表スルノ趣旨ヨリシテ枉ケテ申出ヅル次第ナルヲ以  
テ支那側ニ於テモ我精神ヲ酌ミ篤ト反省ノ上誠意ヲ以テ応  
答セラル、コト然ルヘク何レノ途此上ハ最早讓歩ノ余地ナ  
キニ付其含ヲ以テ考慮アリタシト念ヲ押シ尚序ヲ以テ立花  
ハ目下副税務司ニシテ税務司署理ヲ為シ居ル処我方ニテハ  
正任税務司トシテ青島ヘ転任スルモノト解シ居ル旨ヲ申添  
置キタリ

三九〇 十二月二十八日 大島陸軍次官ヨリ  
松井外務次官宛

青島税関及埠頭業務実施ニ関シ通牒ノ件

附屬書 右件ニ関スル陸軍大臣ヨリ青島守備軍司令官宛

達

陸軍省 送 達 歐發第一六八七号 (十二月二十九日接受)

青島税関及埠頭業務実施ニ関スル件通牒

大正三年十二月二十八日 陸軍次官 大島健一(印)

外務次官 松井慶四郎殿

青島税関及埠頭業務実施ニ関シ別紙ノ通当省大臣ヨリ青島  
守備軍司令官ニ達相成候間及通牒候也

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三九〇

九 青島税関ニ日本人職員ノ任用問題 三九一

六、業務ノ実施其ノ他必要ナル規定ハ旧例ヲ參酌シ軍司令官之ヲ定メ報告スヘシ

三九一 十二月二十八日

在本邦英國大使  
加藤外務大臣 会谈要領

青島税関問題ニ関スル件

十二月二十八日英國大使来省会谈ノ要領

大正三年十二月二十八日英國大使来省ノ際青島税関問題ニ関スル日支交渉ノ件ニ談及シ同問題ノ現状ヲ尋ネタルニ付大臣ハ本問題ノ大要ヲ語ラレ本件ハ事理頗ル明白ナルニ不拘支那側ニテ無理ナル論議ヲ為シ居リ結局ハ先方ニ於テ承諾スルコト、思考シ居レルガ最初「アグレン」ニ於テ日本

五九〇

ニ相談ナク勝手ニ日英兩國人ヲ以テ税関吏員ニ充テントシタルガ如キハ誠ニ言語道斷ト云フ可ク元來總稅務司ニ英人ヲ置クコトモ最初英國ノ対支貿易額他國ニ比シ最も多キ間ト云フ了解ノ下ニ於テセラレタルコトニシテ現在ニ於テハ香港ノ中繼貿易ヲ除ケハ貿易額日本ノ方遙ニ上ニ在ル様ノ次第ナレハ「アグレン」ニ於テハ此事体ヲ斟酌シテ諸事処理スルコト肝要ナリ万一支那側ニテ承諾セサルニ於テハ同税関ヲ先方ニ引渡サザル迄ノコトナリト述ヘラレタルニ大使ハ此問題ハ自分ノ直接關係セサルコトナレドモ心得ノ為伺ヒ置キタル次第ナリト答ヘタリ

事項一〇 中日実業株式会社ニ関スル件

附 朝 日 商 会

三九二 一月四日

倉知中国興業副總裁ヨリ  
松井外務次官宛

中国興業株式会社ニ関スル協定要領ノ覚書送

附ノ件

大正三年一月四日

中国興業株式会社

倉 知 鉄 吉(印)

外務省

外務次官 松井慶四郎殿

拝啓

陳者小生渡支ノ際当社ノ件ニ関シ北京及上海ニ於テ中国側ト打合セテ遂ケ候次第ハ委細面陳申上置候処御參考ノ為右ニ関スル別紙覚書<sup>(註)</sup>写供御内覧候右覚書ハ当方限ニテ調製致候モノニ御座候ヘ共調製ノ上當時小生ノ為通訳ノ任ニ当ラレタル高尾公使館書記官ノ御査閲ヲ請ヒ其承認ヲ經タル後之ヲ在北京公使館ニ提出致置候間御含相願度候 敬具

一〇 中日実業株式会社ニ関スル件 三九二 三九三

註 別紙覚書ハ日本外交文書大正二年第二冊八一〇文書ノ附屬書中ニ記載セラレタル覚書ト略ボ同文ナルニ付省略ス

三九三 一月十九日

中国興業株式会社ヨリ  
小池政務局長宛

劉崇傑答札ノ為渡日ノ件

附屬書 一月十二日附在北京森恪ヨリ中国興業株式会社宛書信

同右件

大正三年一月十九日

中国興業株式会社(尾崎印)

外務省

小池政務局長殿

拝啓

劉崇傑氏渡日ノ件及社名変更ニ関スル件ニ就キ北京来信写別紙御送付申上候間御一覽被下度候 勿々

(附屬書)

大正三年一月十二日

北京

五九一